



札幌国際芸術祭2014

開催報告書

SAPPORO INTERNATIONAL ART FESTIVAL 2014

目 次

■ 開催概要	02
■ 会場情報	03
■ 主催事業一覧	05
■ エキシビション	06
■ パフォーマンス／ライブ	12
■ プロジェクト	14
■ プログラムスケジュール	20
■ プレフェスティバルイベント	25
■ 連携事業	29
■ ボランティア	33
■ 広報・PR	36
■ ガイドブック・ドキュメントブック	44
■ グッズ	45
■ インフォメーションセンター	47
■ シャトルバス	47
■ 来場者数	48
■ 経済波及効果	51
■ 環境負荷低減	51
■ 事業費の収支状況	52
■ アンケート	53
■ アート関係者の評	57
■ 実行委員会	66
■ 後援・助成・協賛・協力 一覧	68

開催概要

「札幌国際芸術祭 2014」は札幌初の国際的なアートフェスティバルです。

坂本龍一をゲストディレクターに迎え、2014年7月19日(土)から9月28日(日)まで、72日間にわたり開催されました。

開催テーマは「都市と自然」。これからの都市と自然の共生のあり方を考える芸術祭として、国際的に活躍する現代アーティストたちが参加し、市内各所では展覧会やパフォーマンスなど、さまざまなプログラムが展開されました。美術館はもちろん、札幌の街全体が芸術祭の舞台となり、会期中に約48万人が来場しました。

●名称

札幌国際芸術祭 2014

Sapporo International Art Festival 2014 (略称: SIAF^{サイアフ}2014)

●開催テーマ

テーマ: 「都市と自然」

サブテーマ: 「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」

明治維新とともに北海道と名づけられたこの土地は、まさに日本の近代化を担ってきた象徴ともいえる。先住民族や自然そのものもその近代化に無縁ではいられなかった。そうした過去の歩みをアートとしてふりかえることで、21世紀の札幌・北海道の自然、都市のあり方、経済、暮らしを模索する(社会彫刻)。各テーマを生かした先進的な作品を、ふさわしい場所に展示。

[ゲストディレクターからのメッセージ]

●ゲストディレクター

坂本 龍一

●開催期間

2014年7月19日(土)～9月28日(日) (72 日間)

●主な会場

北海道立近代美術館／札幌芸術の森美術館／札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)

北海道庁赤れんが庁舎／札幌大通地下ギャラリー 500m美術館

モエレ沼公園／札幌市資料館 ほか(全18会場)

●参加アーティスト…64組

●作品数…214作品

●プロジェクト数…8プロジェクト

●主催

創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

会場情報

●北海道立近代美術館



住所：札幌市中央区北1条西17丁目

開館時間：9:30～17:00

(最終入場 16:30)

金曜 9:30～19:30

(最終入場 19:00)

※8月29日(金)、9月5日(金)は除く

休館日：月曜(月曜が祝日のときは翌火曜)

URL：www.dokyoj.pref.

hokkaido.lg.jp/hk/knb

●北海道庁赤れんが庁舎



住所：札幌市中央区北3条西6丁目

開館時間：8:45～18:00

URL：www.pref.hokkaido.

lg.jp/sm/sum/sk/

akarenga.htm

●札幌市資料館



住所：札幌市中央区大通西13丁目

開館時間：9:00～19:00

各プログラムそれぞれ休業日あり

URL：www.s-shiryokan.jp

●札幌芸術の森美術館



住所：札幌市南区芸術の森2丁目75

開館時間：9:45～17:30

(最終入場 17:00)

9月は9:45～17:00

(最終入場 16:30)

URL：sapporo-art-museum.jp

●札幌大通地下ギャラリー 500m美術館



Photo：小牧 寿里

住所：札幌市中央区大通西1丁目～
大通東2丁目

(地下鉄大通駅とバスセンター前
駅間の地下コンコース内)

作品公開時間：10:00～19:00

URL：500m.jp

●清華亭



住所：札幌市北区北7条西7丁目

開館時間：9:00～16:00

●札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)



区間：地下鉄さっぽろ駅～

大通駅

作品公開時間：11:00～19:00

URL：www.sapporo-

chikamichi.jp

●モエレ沼公園



住所：札幌市東区モエレ沼公園1-1

作品公開時間：9:30～17:00

(土曜は19:00まで)

休館日：9月1日(月)

URL：www.sapporo-park.

or.jp/moere

●札幌市北3条広場



住所：札幌市中央区北2条西4丁目

および北3条西4丁目

URL：www.kita3jo-plaza.jp

●「携帯電話を石器と交換する」会場



住所：札幌市中央区北1条
西17丁目
(北海道立近代美術館付近の空き地)

●大通公園西4丁目



住所：札幌市中央区大通西4丁目
URL：www.sapporo-park.
or.jp/odori

●新千歳空港



Photo：北海道空港株式会社

住所：千歳市美々
URL：www.new-chitose-
airport.jp

●札幌市教育文化会館



住所：札幌市中央区北1条
西13丁目
URL：www.kyobun.org

●さっぽろ芸術文化の館
ニトリ文化ホール



住所：札幌市中央区北1条
西12丁目
URL：www.sapporo-geibun.
jp/hall.html

●さっぽろテレビ塔



住所：札幌市中央区大通西1丁目
URL：www.tv-tower.co.jp

●暮らしかた冒険家 札幌の家



Illustration by 新見 文

住所：札幌市西区福井7丁目
14-30
時間：12:00～17:30
(土曜、日曜のみ)
URL：heysapporo.meoto.co

●札幌市役所 1階ロビー特設会場



住所：札幌市中央区北1条
西2丁目
URL：www.city.sapporo.jp

●北翔大学
北方圏学術情報センター「ポルト」



住所：札幌市中央区南1条
西22丁目1-1
URL：www.hokusho-u.
ac.jp/studentlife/
campusguide/porto

※7月19日(土)～9月28日(日)の情報

主催事業一覧

事業カテゴリー		プログラム	会場
エキシビション 美術館のほか、札幌のまち中や歴史的建造物、公園を舞台に、さまざまな作品を展示		企画展示「都市と自然」 担当：アソシエイト・キュレーター 飯田 志保子 (→P6)	北海道立近代美術館／札幌芸術の森美術館
		チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」 担当：アソシエイト・キュレーター 四方 幸子 (→P7)	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ) ／モエレ沼公園ガラスのピラミッド「HIDAMARI」／清華亭
		赤れんが特別展示「伊福部 昭・掛川 源一郎」展 担当：アソシエイト・キュレーター 飯田 志保子(監修) (→P9)	北海道庁赤れんが庁舎
		500m美術館企画展示 「北海道のアーティストが表現する「都市と自然」ー「時の座標軸」ー」 担当：地域ディレクター 端 聡／創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会 札幌大通地下ギャラリー 500m美術館部会(北村 清彦、三橋 純子、吉崎 元章、寺嶋 弘道) (→P9)	札幌大通地下ギャラリー 500m美術館
		坂本 龍一＋YCAM InterLab「フォレスト・シンフォニー in モエレ沼」 担当：アソシエイト・キュレーター 四方 幸子 (→P10)	モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」
		特別展示 竹村 真一《触れる地球》	
		島袋 道浩《一石を投じる》《携帯電話を石器と交換する》 (→P11)	札幌市北3条広場／「携帯電話を石器と交換する」会場
		田島 一成「SAPPORO PROJECT」 担当：アソシエイト・キュレーター 四方 幸子 (→P11)	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ) ／大通公園西4丁目
		坂本 龍一「ウェルカムサウンド」 (→P11)	新千歳空港
		ヨコハマトリエンナーレ2014相互協力企画 イアン・ウィルソン 担当：アソシエイト・キュレーター 飯田 志保子 (→P12)	北海道立近代美術館／札幌芸術の森美術館
パフォーマンス／ライブ 多彩な芸術表現の可能性を示すダンス、パフォーマンスを展開		能楽×アイヌ古式舞踊「北の大地を寿ぐ」※雨天により公演中止 (→P12)	モエレ沼公園 ミュージックシェル＋プレイマウンテン
		高谷 史郎「CHROMA」 (→P13)	札幌市教育文化会館 大ホール
		Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet「Babel (words)」 (→P13)	さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール
		Alva Noto + Ryuichi Sakamoto S & S ※公演中止 (→P14)	札幌市教育文化会館 大ホール
プロジェクト さまざまな参加・実践型プロジェクトを展開	アーティスト・プロジェクト	参加型プロジェクト「アート×ライフ」 担当：アソシエイト・キュレーター 四方 幸子 (→P14)	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
		COMMUNE《ブラインド・ブック・マーケット》	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
		エキソニモ《DesktopBAM》	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
		深澤 孝史《とくいの銀行 札幌》	札幌市資料館 ほか
		IDPW《インターネットヤミ市4 in 札幌》	さっぽろテレビ塔
		《サッポロ・エホン・カイギ》	札幌市資料館
		YCAM InterLab + 五十嵐 淳「コロガル公園 in ネイチャー」 担当：アソシエイト・キュレーター 四方 幸子 (→P15)	札幌市資料館
	パブリック・プログラム	暮らしがた冒険家【hey, sapporo】 (→P16)	暮らしがた冒険家 札幌の家
		プロジェクトFUKUSHIMA!「フェスティバルFUKUSHIMA!北3条広場で盆踊り」 (→P16)	札幌市北3条広場
		札幌市資料館リノベーションアイデアコンペティション (→P17)	札幌市資料館
		国際公募 都市空間のサウンドコンペティション (→P17)	北海道立近代美術館／札幌芸術の森美術館／札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ) ／札幌市資料館
		SIAF2014 アクティビティ拠点プロジェクト (→P18)	札幌市資料館 ほか
		カムイノミ (→P18)	札幌市北3条広場
		旋回するノイズ (→P19)	モエレ沼公園
		Poème Symphonique (→P19)	モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」
		クロージングプログラム 札幌国際芸術祭2014ファイナルトーク (→P19)	札幌市役所 1階ロビー特設会場

※来場者数は48～50ページ参照

エキシビション

①企画展示「都市と自然」

- ・札幌国際芸術祭 2014 (以下、SIAF2014) の中核となる現代アートの展覧会。
- ・国内外の現代アーティストの作品により、北海道と日本の近代化の歩みと自然環境を振り返りながら、これからの札幌と北海道の自然、都市の在り方、エネルギー、暮らしを見つめ直した。
- ・国内外から 17 組のアーティストが出展。
- ・北海道立近代美術館 (展示室 A) と札幌芸術の森美術館の 2 館が会場。
- ・北海道立近代美術館は都市化・近代化に焦点を当てた展示を、札幌芸術の森美術館では札幌の自然環境やその背景・成り立ちを体感する展示を行った。都市と自然を対立項ではなく、相互に影響しあう関係と定義する SIAF2014 のテーマについて、2 会場を往還する展示構成にすることで体現した。
- ・中谷宇吉郎の展示で使用了写真作品一式は、会期後加賀市へ寄託された。その後、加賀市の中谷宇吉郎 雪の科学館で、開館 20 周年特別記念展示「よみがえる雪の結晶と火花放電の写真」として展示された (2014 年 10 月 23 日 (木) ~ 2015 年 3 月 31 日 (火))。

○会場：北海道立近代美術館 / 札幌芸術の森美術館 (共催：札幌芸術の森美術館)

○チケット

種類	区分	料金 (税込)		
		前売券 (5/1 ~ 7/18)	当日券 (7/19 ~ 9/28)	団体割引券 ・共通チケット：20 人以上 ・個別鑑賞チケット： 北海道立近代美術館 10 人以上 札幌芸術の森美術館 20 人以上
共通チケット	一般	1,500 円	1,800 円	1,500 円
	大学生	1,000 円	1,300 円	1,000 円
	高校生	700 円	800 円	700 円
個別鑑賞チケット	一般		1,100 円	900 円
	大学生		800 円	600 円
	高校生		500 円	400 円

※中学生以下無料

○参加アーティスト・作品名

北海道立近代美術館

No.	アーティスト名	生没年	国籍	作品名
1	スボード・グプタ	1964 年	インド	《ライン・オブ・コントロール (1)》
2	畠山 直哉	1958 年	日本	シリーズ「テリル」より 8 点 シリーズ「アーレン」より 4 点
3	アンゼルク・キファー	1945 年	ドイツ	《メランコリア》 《ジークフリートのブリュンヒルデへの困難な道》 《空にゼフィロートの出現する鉱山の上の家》
4	工藤 哲巳	1935 年 - 1990 年	日本	《放射能による養殖 (小さな温室、オレンジ、緑)》 《危機の中の芸術家の肖像》 《芸術家の肖像。パリの仏陀》 《遺伝染色体による無限の綾取り》 《未来と過去のエンドレステープの間での瞑想》 《前衛芸術家の魂》
5	中谷 宇吉郎	1900 年 - 1962 年	日本	天然雪・人工雪の写真より 20 点 火花放電の写真より 15 点
6	カールステン・ニコライ	1965 年	ドイツ	《スノー・ノイズ》
7	岡部 昌生	1942 年	日本	《YUBARI MATRIX 1992-2014》※ 3 作品で構成
8	高谷 史郎	1963 年	日本	《Ice Core》

札幌芸術の森美術館

No.	アーティスト名	生没年	国籍	作品名
1	平川 祐樹	1983年	日本	《Vanished Forest》
2	栗林 隆	1968年	日本	《ヴァルト・アウス・ヴァルト [林による林]》
3	松江 泰治	1963年	日本	シリーズ「JP-01 SPK」より写真16点・映像2点
4	三原 聡一郎	1980年	日本	《 鈴 》※有島武郎旧邸に展示
5	宮永 愛子	1974年	日本	《そらみみそら (mine・札幌)》 《book -key-》※有島武郎旧邸に展示
6	中谷 芙二子	1933年	日本	《FOGSCAPE #47412》
7	カールステン・ニコライ	1965年	ドイツ	《ユニカラー》
8	スーザン・フィリップス	1965年	英国	《カッコウの巣》※野外美術館に展示
9	トマス・サラセーノ	1973年	アルゼンチン	《ISOHDFS 27/K》 《孤立性、社会性、準社会性のハイブリッドな楽器 「三角座」:1匹のシロホシヒメグモ(10日間)、 イワガネグモ科のクモの小共同体(4ヶ月)、2匹の オワレスズミグモの子(2週間)によって制作され たもの(仮題)》
10	砂澤 ビッキ	1931年ー 1989年	日本	《風に聴く》 《神の舌》



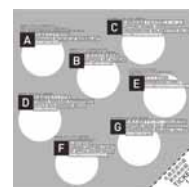
スボード・グプタ《ライン・オブ・コントロール(1)》2008年、北海道立近代美術館での
展示風景、Photo：木奥 恵三



中谷 芙二子《FOGSCAPE #47412》2014年、札幌芸
術の森美術館での展示風景、Photo：木奥 恵三



共通チケット



個別鑑賞チケット
(北海道立近代美術館／
札幌芸術の森美術館)

②チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」

- かつて豊かな地下水脈が流れていたとされる札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)には、現在、通り過ぎる人々、電磁波や情報といったさまざまな流れが存在する。その流れ(ストリームズ)を感知(センシング)し、可視化・可聴化する新作を展示した。
- メディア・アートを含む11の新作で構成。チ・カ・ホ会場を中心に、清華亭、モエレ沼公園の他、ウェブやアプリなどを使用した作品も展開した。
- 参加アーティストのジョン・ビョンサムおよびパク・ジョンソンは、札幌市の姉妹都市である韓国・大田広域市より参加。
- チ・カ・ホ北3条交差点広場では、北海道のアーティスト、学生による映像作品プログラムや札幌国際短編映画祭、アルス・エレクトロニカ、学生CGコンテストからの特別プログラムを上映。チ・カ・ホ北2条交差点広場では「光るグラフィック展」 in 札幌やSapporo-north2セレクションを上映した。
- 会期中には、チ・カ・ホ会場内でトークやワークショップなどが開催された。
- 坂本龍一、真鍋大度による《センシング・ストリームズー不可視、不可聴》は、第18回文化庁メディア芸術祭 アート部門優秀賞を受賞した。

○会場：札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)／モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」／清華亭

○参加アーティスト・作品名

札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	A.P.I (アーケティック・パースペクティブ・イニシアティブ)	2006年結成	-	《フェニックス：極地圏をめぐる》
2	アンティエ・グライエ＝リパッティ (AGF)	1969年	ドイツ	《サウンド・ポエム・サッポロ》
3	ジョン・ビョンサム	1977年	韓国	《デジタル・メモ》
4	菅野 創／ yang02	菅野 創：1984年 yang02：1984年	日本	《セミセンスレス・ドローイング・モジュールズ (SDM)》
5	毛利 悠子	1980年	日本	《サーカスの地中》
6	パク・ジョンソン	1974年	韓国	《デジタル・ウィンディ・バンブー・グローブ》
7	坂本 龍一 + 真鍋 大度	坂本 龍一：1952年 真鍋 大度：1976年	日本	《センシング・ストリームズー不可視、不可聴》
8	セミトランスペアレント・デザイン	2003年結成	日本	《SITE-SPECIFIC BOOKMARKS》
9	進藤 冬華	1975年	日本	《島めぐり》
10	露口 啓二	1950年	日本	《Map of Water SAPPORO/FUKUSHIMA》
11	山川 冬樹	1973年	日本	《リバー・ラン・プラクティス：石狩湾から札幌駅前通地下歩行空間へ遡上する》

モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	坂本 龍一 + 真鍋 大度	坂本 龍一：1952年 真鍋 大度：1976年	日本	《センシング・ストリームズー不可視、不可聴》

清華亭

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	毛利 悠子	1980年	日本	《サーカスの地中》



菅野 創／ yang02《セミセンスレス・ドローイング・モジュールズ (SDM)》2014年、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)での展示風景、Photo：木奥 恵三



毛利 悠子《サーカスの地中》2012-2014年、清華亭での展示風景、Photo：木奥 恵三



坂本 龍一 + 真鍋 大度《センシング・ストリームズー不可視、不可聴》2014年、モエレ沼公園ガラスのピラミッド「HIDAMARI」での展示風景、Photo：木奥 恵三

③赤れんが特別展示「伊福部 昭・掛川 源一郎」展

- ・釧路出身の音楽家・伊福部昭と、室蘭出身の写真家・掛川源一郎の功績を再考する目的で、ゲストディレクター坂本龍一自身が企画案から作品選定まで行った。伊福部はポートレート写真や自筆譜の他、中谷宇吉郎との関連資料も展示。掛川は写真作品を中心に、テストプリントを分析して展示した。
- ・SIAF2014の目的の一つである歴史的建造物の利用という観点から、北海道庁赤れんが庁舎が会場に選ばれた。
- ・会場デザイン・什器制作はオリバー・フランツ (silent. 代表) が担当した。

○会場：北海道庁赤れんが庁舎

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生没年	国籍	作品（展示内容）
1	伊福部 昭	1914年－2006年	日本	楽譜、手紙、ポートレート写真など14点
2	掛川 源一郎	1913年－2007年	日本	写真、テストプリント、原稿など58点



展示風景(左：伊福部昭の展示、
右：掛川源一郎の展示)、
Photo：小牧 寿里(左)、
オリバー・フランツ(右)

④500m美術館企画展示「北海道のアーティストが表現する「都市と自然」―「時の座標軸」―

北海道・札幌ゆかりのアーティストにより、日本の近代化・都市化に貢献した石炭産業などの北海道の歴史や、わずか100年余りで都市空間を形成した札幌の時間軸を再考し、人と自然との新たな共生を示唆する展示を行い、「都市と自然」のテーマを体現した。

○会場：札幌大通地下ギャラリー 500m美術館



上遠野 敏《20世紀の肖像(炭鉱の記憶)》2014年、
札幌大通地下ギャラリー 500m美術館での展示風景、
Photo：木奥 恵三

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	坂東 史樹	1963年	日本	《真昼の星ター樽前小学校体育館での記憶ー》 《真昼の星ターある牛飼いの最後の為にー》 《真昼の星ター真昼の夢》 《真昼の星ターラスト・フライト》 《深層からの標本; 双子[T-07]》 《深層からの標本; 海の底でゆっくりページをめくる本》
2	藤木 正則	1952年	日本	《RED TAPE 1992 - 500m美術館バージョン》
3	今村 育子	1978年	日本	《向こうの光》
4	伊藤 隆介	1963年	日本	《Moon Maker》《Field Watcher》
5	神谷 泰史	1980年	日本	《Layered time-motion》
6	上遠野 敏	1955年	日本	《20世紀の肖像(炭鉱の記憶)》
7	宮永 亮	1985年	日本	《WAVY》
8	中嶋 幸治	1982年	日本	《故郷をつくる》
9	檜原 武正	1942年	日本	《大地／開墾2014-7》
10	Hidemi Nishida	1986年	日本	《scan_01_5.jul.2014_fin》
11	鈴木 悠哉	1983年	日本	《“映画について”》
12	高田 洋三	1971年	日本	《In Our Nature》
13	武田 浩志	1978年	日本	《Utopia TaRa-TaRa 01》
14	谷口 顕一郎	1976年	日本	《「札幌市中央区北12条西20丁目(中央卸売市場青果棟前歩道)」のための凹みスタディ #6 (2倍スケール)》
15	土田 俊介	1973年	日本	《考えてもできないんだけど、考えてないと出会えないモノ。no.14-05,06,09,11》
16	山田 良	1968年	日本	《横たわる樹木/光競争の跡》

⑤坂本 龍一 + YCAM InterLab「フォレスト・シンフォニー in モエレ沼」

- ・札幌や道内をはじめ国内外11カ所の樹木にセンサーを設置し、それぞれの木の生体電位のデータを音楽へと変換するインスタレーション作品。
- ・本作は2013年に山口情報芸術センター[YCAM](以下、YCAM)の開館10周年記念祭のために制作されたもので、今回は札幌や道内を中心に新たにセンサーを設置し、SIAF2014バージョンとして発表された。
- ・モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」が会場として使用された。スペース1ではインスタレーション、スペース2ではフォレスト・シンフォニーの背景やそのシステム、モエレ沼公園の建設経緯の他、《触れる地球》が特別展示された。



坂本 龍一 + YCAM InterLab《フォレスト・シンフォニー in モエレ沼》2014年、モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」での展示風景、Photo: 木奥 恵三

○会場：モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」
(共催：(公財)札幌市公園緑化協会)

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	坂本 龍一 + YCAM InterLab	坂本龍一： 1952年 YCAM InterLab： 2003年設立	日本	《フォレスト・シンフォニー in モエレ沼》 supported by LOUIS VUITTON
2	竹村 真一	1959年	日本	《触れる地球》

⑥島袋 道浩

- ・ベルリン(ドイツ)を拠点に国際的に活動する島袋道浩は、札幌、北海道を複数回リサーチし、地域の風土や人と出会った体験から新しい作品のアイデアを得て《一石を投じる》と《携帯電話を石器と交換する》という「石」に関する2つの作品を同時に発表した。
- ・二風谷(北海道沙流郡平取町)から運ばれた自然石を使った《一石を投じる》は、整然としたまちなみでこぼことした自然のものを持ち込むという作品。会期後、札幌市資料館の前庭で展示することとなった。
- ・《携帯電話を石器と交換する》は、人類の最新の道具である携帯電話を、人類最古の道具である石器に持ち替えて、古代の人が暮らしていた跡を訪れてみようという作品。
- ・会場が違う2つの作品は、島袋の体験を来場者がそれぞれのアプローチで体験し、共有する内容となった。



島袋 道浩《一石を投じる》2014年、札幌市北3条広場での展示風景、Photo：木奥 恵三

○会場：札幌市北3条広場／「携帯電話を石器と交換する」会場

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	島袋 道浩	1969年	日本	《一石を投じる》 《携帯電話を石器と交換する》

⑦田島 一成[SAPPORO PROJECT]

- ・札幌の「都市と自然」、そして市民の生活を支える「インフラ」という2つのテーマで、写真家・田島一成が撮影し、その風景や脈動を切り出した。
- ・札幌の「都市と自然」の写真は、ポスターや公式ホームページ、SNSなどSIAF2014のキービジュアルとして使用された。
- ・普段、目にすることがない都市のもう一つの側面を撮影した「インフラ」の写真は、札幌中心部の公共壁面(札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)および大通公園西4丁目)を利用し掲出された。



田島 一成《SAPPORO PROJECT》2014年、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)での展示風景、Photo：木奥 恵三

○会場：札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)／大通公園西4丁目

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	田島 一成	1968年	日本	《SAPPORO PROJECT》

⑧坂本 龍一「ウェルカムサウンド」

- ・SIAF2014の開催に合わせ、国内外からの来訪者を歓迎するため、北海道の空の玄関口である新千歳空港にウェルカムサウンドを設置した。
- ・本作品は、ゲストディレクター坂本龍一が自ら制作を担当し、新千歳空港の特性や環境に調和するように制作・設置された。
- ・北海道の体験とともに人々の記憶に刻まれる本作品は、公共空間の音に対する先駆的な提案となった。

○会場：新千歳空港

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	坂本 龍一	1952年	日本	《COWS》

⑨ヨコハマトリエンナーレ2014相互協力企画 イアン・ウィルソン

- ・ゲストディレクター坂本龍一と、「ヨコハマトリエンナーレ2014」アーティストティック・ディレクターの森村泰昌氏が相互に協力する企画事業として実施されたもの。
- ・SIAF2014では、一部の会場において「ヨコハマトリエンナーレ2014」参加アーティストの1人であり、コンセプチュアル・アートの神話的なアーティスト、イアン・ウィルソンの作品を展示した。
- ・展示したのはウィルソンの指示書による作品、《話される「時間」》(1968)。会場に物理的な作品を設置するのではなく、スタッフや監視員が鑑賞者からの問い合わせに応じて、この作品は発話される「時間」という言葉そのものであることを伝えた。

○会場：北海道立近代美術館／札幌芸術の森美術館

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生年	出身	作品名
1	イアン・ウィルソン	1940年	南アフリカ共和国	《話される「時間」》

パフォーマンス／ライブ

①能楽×アイヌ古式舞踊「北の大地を寿ぐ」

- ・SIAF2014の成功と、アイヌモシリとも呼ばれる北海道という土地、人、あらゆる生き物を寿ぐ意味を込め、能の原点といわれる「翁」と、先住民族アイヌの古式舞踊を同じ時、同じ空間で公演する予定であったが、当日雨天のため中止した。
- ・ゲストディレクター坂本龍一の呼びかけに、狂言師・野村萬斎と帯広カムイトウウポボ保存会 会長・酒井奈々子が応じて参加した。

○公演日：7月22日（火）※雨天のため中止

○会場：モエレ沼公園 ミュージックシェル + プレイマウンテン

○チケット

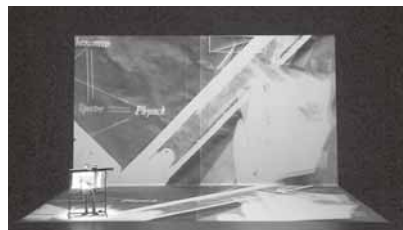
種類	区分	料金(税込)
入場チケット	プレミアム	6,500円
	一般	2,000円

○参加アーティスト

No.	アーティスト名	生年	国籍
1	観世 清河寿	1959年	日本
2	野村 萬斎	1966年	日本
3	帯広カムイトウウポボ保存会	1964年設立	日本

②高谷 史郎^{クロマ}「CHROMA」

- ・総合ディレクションは高谷史郎。音楽家のサイモン・フィッシャー・ターナーをはじめ、ダンサー、ミュージシャン、プログラマー、映像クリエイターなど、さまざまなアーティストが参加するパフォーマンス作品。
- ・2012年に滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールとダムタイプオフィスの共同制作で世界初演、2013年にはフランスのマルセイユ・フェスティバルで上演され、本公演が道内初演となった。



高谷 史郎「CHROMA」札幌公演、
Photo：小牧 寿里

○公演日：7月26日（土）、27日（日）

○会場：札幌市教育文化会館 大ホール

○チケット

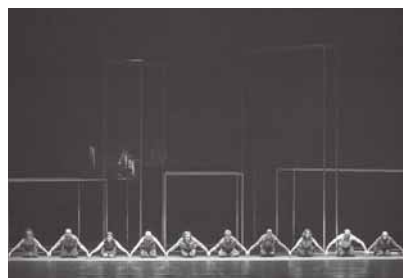
種類	区分	料金(税込)
入場チケット (全席指定)	一般	3,500円
	U25 (1988年以降生まれ対象)	2,000円

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	高谷 史郎	1963年	日本	「CHROMA」 ^{クロマ}

③^{シディ ラルビ シェルカウイ} Sidi Larbi Cherkaoui + ^{ダミアン ジャレ} Damien Jalet ^{バベル ワーズ}「Babel (words)」

- ・シディ・ラルビ・シェルカウイとダミアン・ジャレによる、旧約聖書の「バベルの塔」をモチーフとしたコンテンポラリーダンス作品。
- ・民族、テリトリー、さまざまな言語、国家のアイデンティティといった問題が、鋭く、時にはユーモラスに、10カ国以上から参加するダンサーとミュージシャンによって描かれた。
- ・彫刻家アントニー・ゴームリーによる5つの大きな直方体フレームの舞台装置が、パフォーマーによって次々とフォーメーションを変え、領土、陣地、自室、リングなど、自と他を分かつ見えない壁や境界となって表現された。
- ・札幌での公演が日本初演となり、後に東京でも公演された。



シディ・ラルビ・シェルカウイ +
ダミアン・ジャレ「Babel (words)」札幌公演、
Photo：小牧 寿里

○公演日：8月22日（金）

○会場：さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール

○チケット

種類	区分	料金(税込)
入場チケット (全席指定)	S席	6,000円
	A席[一般]	4,000円
	A席[U25] (1988年以降生まれ対象)	2,000円

○参加アーティスト・作品名

No.	アーティスト名	生年	国籍	作品名
1	シディ・ラルビ・シェルカウイ	1976年	ベルギー	バベル・ワーズ 「Babel(words)」
	ダミアン・ジャレ	1976年	ベルギー、フランス	

④XSOL presents

アルヴァ ノト

Alva Noto + Ryuichi Sakamoto | S&S

SIAF2014のクロージングを飾るプログラムとして、日本初上陸となる「s」ツアーをSIAF2014のためにバージョン・アップした「S&S」を開催する予定であったが、坂本龍一の急病のため中止とした。

○公演日：9月27日（土）※公演中止

○会場：札幌市教育文化会館 大ホール

○チケット

種類	区分	料金(税込)
入場チケット (全席指定)	一般	6,500円
	U25 (1988年以降生まれ対象)	2,000円

○参加アーティスト

No.	アーティスト名	生年	国籍
1	アルヴァ・ノト	1965年	ドイツ
	坂本 龍一	1952年	日本

プロジェクト

■アーティスト・プロジェクト

①参加型プロジェクト「アート×ライフ」

- ・SIAF2014のサブテーマ「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」の実践的展開として、アーティストと市民、そして市民同士が自在につながることで、創造の場を日常へと広げていくことを目的としたアート&ソーシャルプロジェクトとして展開された。
- ・《ブラインド・ブック・マーケット》《とくいの銀行 札幌》《サッポロ・エホン・カイギ》は、多くのボランティアの参加により、72日間の会期を通じて運営、実施された。
- ・《インターネットヤミ市4 in 札幌》は、全国から46組が出店した。
- ・《サッポロ・エホン・カイギ》で制作された絵本は、会期後にさっぽろ天神山アートスタジオ(札幌市豊平区平岸2条17丁目)で展示された。



コミュニティ
COMMUNE《ブラインド・ブック・マーケット》
2014年、Photo: 喜多村 みか

- ・《ブラインド・ブック・マーケット》と《サッポロ・エホン・カイギ》は、第100回全国図書館大会の記念フォーラムで活動内容が紹介された。
- ・《とくいの銀行 札幌》が契機となり、会期後に「とくいの銀行 京極支店(虻田郡京極町)」が開設された。



深澤 孝史《とくいの銀行 札幌》2014年、
Photo: 木奥 恵三

○開催期間：7月19日(土)～9月28日(日)

※《とくいの銀行 札幌》は、5月31日(土)～9月28日(日)

○会場：札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)／札幌市資料館／
さっぽろテレビ塔 ほか

○参加アーティスト・プロジェクト名

No.	アーティスト名	生年	国籍	プロジェクト名
1	COMMUNE	2005年結成	日本	《ブラインド・ブック・マーケット》
2	エキソニモ	1996年結成	日本	《DesktopBAM》
3	深澤 孝史	1984年	日本	《とくいの銀行 札幌》
4	アイパス IDPW	—	—	《インターネットヤミ市4 in 札幌》
5	—	—	—	《サッポロ・エホン・カイギ》 (コーディネーター: 富田 哲司+札幌オオドオリ大学)

② YCAM InterLab + 五十嵐 淳「コロガル公園 in ネイチャー」

- ・自然素材で作られた大小の起伏に富み、デジタル、アナログ両方のメディアによる仕掛けが組み込まれた、子どものための公園型作品。
- ・本作は2012年にYCAMで開発・発表され、そのコンセプトを引き継ぎ、初の屋外バージョンとしてSIAF2014のために制作された。制作に当たっては、北海道出身・在住の建築家・五十嵐淳を起用し、YCAMとの綿密な打ち合わせを繰り返しながら、形やシステムが新たに構想された。
- ・追加したい遊びや機能を話し合うワークショップ「子どもあそびばミーティング」を会期中2回開催し、そのアイデアが作品に反映された。
- ・札幌市資料館の利用者に、親子という新しい層の来場を促した。
- ・使用された自然素材(道産材)は、作品を解体後、市民に配布され、再利用された。



YCAM InterLab + 五十嵐 淳
《コロガル公園 in ネイチャー》
2014年、Photo: 喜多村 みか

○会場：札幌市資料館

○参加アーティスト・プロジェクト名

No.	アーティスト名	生年	国籍	プロジェクト名
1	YCAM InterLab + 五十嵐 淳	YCAM InterLab : 2003年設立 五十嵐 淳 : 1970年	日本	《コロガル公園 in ネイチャー》 supported by 札幌丸井三越

③暮らしかた冒険家【hey,sapporo】

- ・暮らしかた冒険家（池田秀紀、伊藤菜衣子）が、札幌で暮らしながら高品質低空飛行な暮らしをモットーに「たべもの」「お金」「近所」「仕事」「インターネット」を見つめ直し、人口減少が進む日本の15年後の暮らしの在り方を冒険した。
- ・会期中は「交換したいもの」を掲示し、あるもの・できることを交換。暮らしかた冒険家の暮らしを実験台に、みんなで持ち寄り、持ち帰り、冒険する。その過程を特設ウェブサイトを通じて日々公開記録した。



暮らしかた冒険家《【hey,sapporo】》2014年、
©暮らしかた冒険家

○開催期間：5月18日（日）～9月28日（日）

※公開準備期間を含む

○会場：暮らしかた冒険家 札幌の家

○参加アーティスト・プロジェクト名

No.	アーティスト名	生年	国籍	プロジェクト名
1	暮らしかた冒険家	池田 秀紀：1980年 伊藤 菜衣子：1983年	日本	《【hey, sapporo】》

④プロジェクト FUKUSHIMA!「フェスティバルFUKUSHIMA! 北3条広場で盆踊り」

- ・東日本大震災復興の取り組みとして、音楽家・大友良英が中心となり、福島出身のアーティストが始めた「フェスティバルFUKUSHIMA!」の一環として実施したプログラム。
- ・会場に特設のやぐらを建て、NHK 朝の連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマソングをアレンジした「あまちゃん音頭」、北海道で広く普及している「こども盆踊り」をアレンジした「新こども盆踊り」など、アーティストと参加者がオリジナルの盆踊りを踊った。
- ・地面に敷き詰めたカラフルな大風呂敷は、市民から提供を受けた布を、ボランティアが縫い合わせた。
- ・大友良英に加え、大友良英スペシャルビッグバンド、マダムギター長見順、Sachiko M、遠藤知絵、珍しいキノコ舞踊団などが出演した。
- ・一般公募のメンバーが思い思いの楽器を持ち寄って、即興でオーケストラ演奏を行うワークショップ「オーケストラSAPPORO!」を実施した。



プロジェクトFUKUSHIMA!
《フェスティバルFUKUSHIMA! 北3条広場で盆踊り》
2014年、オーケストラSAPPORO!の様子、
Photo：小牧 寿里

○開催日：8月10日（日）

○会場：札幌市北3条広場（共催：札幌駅前通地区活性化委員会）

○参加アーティスト・プロジェクト名

No.	アーティスト名	生年	国籍	プロジェクト名
1	プロジェクトFUKUSHIMA!	2012年結成	日本	《フェスティバルFUKUSHIMA! 北3条広場で盆踊り》

■パブリック・プログラム

●国際公募

①札幌市資料館リノベーションアイデアコンペティション

- ・歴史的建造物である札幌市資料館を次代のアートや新しい創造性を発信する場として活用するため、「創造性(クリエイティビティ)」「公共性(パブリック)」「記録の保存活用(アーカイブ)」「先進的技術(テクノロジー)」を意識した機能を内包するアイデアを募集した。
- ・国内外から131点(国内:120点、国外11点)の応募があり、優秀なアイデア38点は会期中に札幌市資料館で展示された。

○募集期間:3月1日(土)～4月30日(水)

○審査員

坂本 龍一(SIAF2014ゲストディレクター)、
青木 淳(建築家/青木淳建築計画事務所)、
坂井 文(北海道大学大学院 工学研究院 准教授)、
涌井 雅之(造園家/東京都市大学 環境学部 教授/
岐阜県立森林文化アカデミー 学長)、
武邑 光裕(札幌市立大学 デザイン学部 教授)



nmstudio(森 創太、蛭川 結)《create creation》

○最優秀作品

No.	受賞者	国籍	作品名
1	nmstudio(森 創太、蛭川 結)	日本	《create creation》

②都市空間のサウンドコンペティション

- ・SIAF2014のテーマを象徴し、都市の公共空間にふさわしい音の作品を募集した。
- ・国内外から578点(国内:267点、国外:311点)の応募があり、ゲストディレクター坂本龍一による審査を経て、グランプリ1点、金賞1点、銀賞4点が選定された。
- ・グランプリ作品は、会期中に札幌市資料館、北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)に設置された。
- ・上位入賞6作品が、札幌市資料館エントランスに設置された。

○募集期間:2月1日(土)～3月31日(月)

○受賞作品

	受賞者	国籍	作品名
グランプリ	渡邊 和三四	日本	《惑星の歌》
金賞	林 小百合、ハンネス・イグネル、ハンナ・ビールンド	日本、スウェーデン	《アーバンツリーのたね》
銀賞	Karolis Biveinis (composer) and Monica de Nut (voice)	リトアニア	《VOICING(PART III)》
	Marco Liy	ペルー	《DEPTH PERCEPTION》
	田中 敬一	日本	《気配》
	遠藤 健二	日本	《五つの風》

●SIAF2014アクティビティ拠点プロジェクト

札幌市資料館を市民交流、情報発信などアクティビティの拠点とし、会場を巡るきっかけづくりやSIAF2014の理解促進を目的として活用した。

○会場：札幌市資料館

①ボランティアセンター

ボランティア活動を運営するセンターを設置した。

②SIAF編集局

各プログラムのタイムリーな情報を、ボランティアや地域の子どもたちが記者となって取材。「サカナ通信」(かわら版)を発行した。また、ブログやツイッターなどで日々の活動や口コミ情報などを随時発信した。

③連携事業ワークショップルーム

「エネルギーとアート」「都市農業とアート」など、開催テーマに即したワークショップを実施した。

④旅プロジェクト

SIAF2014のテーマや作品などへの理解を深めるため、新たな視点でその背景にある存在(ひと、もの、こと)に注目し、ツアーを実施した。



④旅プロジェクトの様子



⑤SIAFカフェ

⑤SIAFカフェ

来場者やアーティストが交流するカフェを設置した。札幌市の障がい者支援施策「元気カフェ」の仕組みを取り入れた宮田屋珈琲が運営し、道産食材にこだわった軽食や自家焙煎のコーヒーなどを提供した。

⑥その他

インフォメーションセンター、プレスルーム、ミーティングルームを設置した。

●オープニングプログラム

①カムイノミ

アイヌモシリとも呼ばれる北海道でSIAF2014を開催するに当たり、土地、人、あらゆる生き物に祈りを捧げ、受け入れを求め、芸術祭の成功を祈願する意味を込めて、先住民族アイヌの神事であるカムイノミを行った。

○開催日：7月19日(土)

○会場：札幌市北3条広場



Photo：喜多村 みか

② 旋回するノイズ

- ・レース鳩にオリジナルの笛を付けて飛ばすことで、鳩が受ける風を音に変換するプログラム。
- ・1980年代にゲストディレクター坂本龍一がインドネシアのバリ島で出会った環境芸術を再現した。
- ・このプログラムは「社会福祉法人札幌三和福祉会」が笛を制作し、レース鳩愛好家の協力を得て実現。
- ・オリジナルの笛「whirling noise」は、会期中にグッズとしても販売された。



○開催日：7月19日（土）

○会場：モエレ沼公園

③ Poème Symphonique

- ・ジョルジュ・リゲティが1962年に作曲した100台のメトロノームを用いて演奏する「ポエム・サンフォニック」という楽曲に、ゲストディレクター坂本龍一が着想を得て実施したプログラム。
- ・SIAF2014では、小学生が、持ち寄ったメトロノームに色を塗り、思い思いのリズムに設定。全員で一斉に演奏した。
- ・音楽家ユザーンとSIAF2014公式デザイナー長嶋りかこがコーディネーターとして参加した。

○開催日：7月26日（土）

○会場：モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」



Photo：小牧 寿里

●クロージングプログラム

○札幌国際芸術祭2014 ファイナルトーク

- ・閉幕日に、SIAF2014を振り返るトークイベントを開催。
- ・札幌市で初めて開催された国際芸術祭が札幌に何をもたらしたのか、そして次に何をを目指すのかを、さまざまな立場から語り合った。

○開催日：9月28日（日）

○会場：札幌市役所 1階ロビー特設会場



Photo：小牧 寿里

○登壇者

武邑 光裕 (SIAF2014 ゼネラルプロデューサー)、浅田 彰 (SIAF2014 企画アドバイザー)、
飯田 志保子 (SIAF2014 アソシエイト・キュレーター)、四方 幸子 (SIAF2014 アソシエイト・キュレーター)、
端 聡 (SIAF2014 地域ディレクター)、吉崎 元章 (札幌芸術の森美術館 副館長)、
寺嶋 弘道 (北海道立近代美術館 学芸部長)、梁井 朗 (北海道美術ネット主宰)

プログラムスケジュール

会期前、会期中を通して130の多彩なプログラムを実施した。

●6月

開催日	プログラム名	会場
17日(火)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 嫁入りタマネギベーグルづくり①酵母を育てる	さっぽろ天神山アートスタジオ
27日(金)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 嫁入りタマネギベーグルづくり②ベーグルづくり&玉葱音頭	さっぽろ天神山アートスタジオ

●7月

開催日	プログラム名	会場
6日(日)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 大友堀流しうどん	さっぽろ天神山アートスタジオ
18日(金)~ 8月3日(日)	札幌国際芸術祭 2014 チ・カ・ホ 学生展(第1期)	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
19日(土)	オープニングプログラム 巡回するノイズ	モエレ沼公園
	企画展示「都市と自然」アーティストフロアトーク	北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館
	オープニングプログラム カムイノミ	札幌市北3条広場
	島袋道浩トークイベント 「アートは社会、そして人々の心に一石を投じる」	札幌市北3条広場
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 鮭皮カウボーイハットカントリーダンス	札幌市資料館
	SIAF2014 招待作品 アンゼルク・キーファードキュメンタリー映画 「あなたの都市の上に草は生える」	シアター・イメージフォーラム[東京]
20日(日)	チ・カ・ホ特別展示 「センシング・ストリームズ」アーティストトーク	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
	SIAF2014 招待作品 アンゼルク・キーファードキュメンタリー映画 「あなたの都市の上に草は生える」	シアター・イメージフォーラム[東京]
	SIAF2014 招待作品 アンゼルク・キーファードキュメンタリー映画 「あなたの都市の上に草は生える」/アフタートーク	北翔大学北方圏学術情報センター 「ポルト」
21日 (月・祝)	500m美術館ギャラリーツアー	札幌大通地下ギャラリー 500m美術館
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 人の顔をクマにして描く会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
	SIAF2014 招待作品 アンゼルク・キーファードキュメンタリー映画 「あなたの都市の上に草は生える」	シアター・イメージフォーラム[東京]
22日(火)	能楽×アイヌ古式舞踊「北の大地を ^{こよほ} 寿ぐ」 ※雨天のため公演中止	モエレ沼公園 ミュージックシェル +プレイマウンテン
	SIAF2014 招待作品 アンゼルク・キーファードキュメンタリー映画 「あなたの都市の上に草は生える」	シアター・イメージフォーラム[東京]
24日(木)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 曼茶羅アート茶会	さっぽろ天神山アートスタジオ
	SIAF2014 招待作品 アンゼルク・キーファードキュメンタリー映画 「あなたの都市の上に草は生える」	京都シネマ
25日(金)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント パフェを食べるの会	PEOPLE PEAPE

開催日	プログラム名	会場
26日(土)	SIAF2014招待作品 アンゼラム・キーファードキュメンタリー映画 「あなたの都市の上に草は生える」	山口情報芸術センター [YCAM]
	オープニングプログラム Poème Symphonique ^{ボエム サンフォニク}	モエレ沼公園 ガラスのピラミッド [HIDAMARI]
	高谷 史郎「CHROMA」	札幌市教育文化会館 大ホール
	アフタートーク「メディア・アートは今、何を表現するかー dumb typeから《CHROMA》へ、その活動から紐解く」	
27日(日)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 火星開拓に思いを馳せながら薪割りを学ぶ会	暮らししかた冒険家 札幌の家
	高谷 史郎「CHROMA」	札幌市教育文化会館 大ホール
	アート×ライフ スペシャルトーク#1 ふたつの本のプロジェクト	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
29日(火)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 天神山散歩の会	さっぽろ天神山アートスタジオ
31日(木)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント りんごをむいて食べるの会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869

●8月

開催日	プログラム名	会場
2日(土)	アート×ライフ スペシャルトーク#2 いよいよ明日、8・3(ヤミ)の日開催! 「インターネットヤミ市4 in 札幌」	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
3日(日)	参加型プロジェクト アート×ライフ 「インターネットヤミ市4 in 札幌」	さっぽろテレビ塔 2階ホール
	トーク&レクチャー「掛川源一郎の眼差しを巡って」	札幌市資料館 2階研修室
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント とくいの銀行 札幌支店 ひきだしイベント in 本郷商店街	本郷商店街
4日(月)	センシング・ストリームズ トークシリーズ#1 アーティストトーク「<島めぐり>をめぐって」	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
8日(金)～ 31日(日)	札幌国際芸術祭2014チ・カ・ホ学生展(第2期)	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
8日(金)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 人体エネルギー診断室	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
9日(土)	大友良英トークショー	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 夏休み工作銭函貯金箱	銭函kamome[小樽市]
10日(日)	プロジェクトFUKUSHIMA! 「フェスティバルFUKUSHIMA! 北3条広場で盆踊り」	札幌市北3条広場
	連携事業ワークショップルーム ラウンドテーブル「札幌の緑、農業、いとなみ」	札幌市資料館 2階連携事業 ワークショップルーム
11日(月)	センシング・ストリームズ トークシリーズ#2 レクチャー「札幌の時空の流れを掘り起こす」	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
	アートカフェ in 資料館(仮)vol.1	札幌市資料館 SIAF 編集局
12日(火)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 天神山朝りんご散歩	さっぽろ天神山アートスタジオ
13日(水)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 中山久蔵物語	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
15日(金)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 大友堀流し公園	札幌市資料館 裏庭
16日(土)	企画展示「都市と自然」キュレータートーク	北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館
	旅プロジェクト第一弾 レクチャー(1) 「札幌の縄文人はどこからきたの?そしてどこへいったの?」	札幌市資料館 2階ミーティングルーム

開催日	プログラム名	会場
16日(土)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント お笑い媒体論	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
17日(日)	コログル公園 in ネイチャー 子どもあそびばミーティング(1) とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 人の顔をくま化したり、消しゴムハンコをつくる会	札幌市資料館 裏庭 札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
18日(月)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント コロポックルを探していっしょにおどろう センシング・ストリームズ トークシリーズ#3 アーティストトーク「水脈都市としての札幌」	北海道大学 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
21日(木)	宮永愛子ワークショップ「はじまりをたずねる」 とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント パフェを食べるの会 vol.2	札幌芸術の森美術館、札幌市内の鉱山 HOKKAIDO ミルク村
22日(金)	シディ ラルビ シェルカウイ ダミアン ジャレ バベル ワーズ Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet「Babel(words)」 SIAF2014特別連携事業 「さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭2014」 関連プログラム「カミネコンボット植樹学習」	さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール 札幌市立富丘小学校 4階マルチルーム ほか
23日(土)	小中学生対象ワークショップ 「石器ってなに? 道具なの、使えるの、つくれるの?」(1) 「石器を使う」話と黒曜石のナイフを使ってものを切る実験 旅プロジェクト第一弾 レクチャー(2) 「札幌の水道水はなぜおいしいの?」 SIAF2014特別シンポジウム「中谷芙二子: 霧は語る」 ワークショップ「札幌の都市農業について考える」第1回 ジャガイモから見る世界ってどんな世界?/ 種を食べるワークショップ	札幌市資料館 2階研修室 札幌市資料館 2階ミーティングルーム 北翔大学北方圏学術情報センター 「ポルト」 札幌市資料館 2階連携事業ワークショップルーム
24日(日)	アート×ライフ スペシャルトーク#3 「とくいの銀行 札幌」 とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント オパイヤ四コマ同人誌づくりの会 SIAF2014招待作品 アンゼラム・キーファードキュメンタリー映画 「あなたの都市の上に草は生える」	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場 札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869 旧住友別荘炭鉱跡地「三笠市」
25日(月)	センシング・ストリームズ トークシリーズ#4 クロストーク「さっぽろメディアスケープ: つながる都市」 アートカフェ in 資料館(仮) vol.2 ～「Babel」を中心に芸術祭を語ろう	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場 札幌市資料館 SIAF 編集局
27日(水)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント フラダンスレクチャー	札幌市資料館
28日(木)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント あなたの話を本にする meeting	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
30日(土)	500m美術館ギャラリーツアー 進藤冬華ワークショップ 「記憶と記録をつなげるワークシート」を作る 旅プロジェクト第二弾 空知炭鉱の記憶ツアー(1) 吉岡理事長と行く【その時、歴史は動いた! 炭鉱衰退の原因となっ た1975年の現場を歩く】 旅プロジェクト第一弾 レクチャー(3) 「札幌は森になれるのか?」 ワークショップ「札幌の都市農業について考える」第2回 TPP後の農と暮らし: ラウンドテーブル	札幌大通地下ギャラリー 500m美術館 札幌市中央図書館 3階研修室A 夕張市、三笠市、岩見沢市 札幌市資料館 2階ミーティングルーム 札幌市資料館 2階連携事業ワークショップルーム
31日(日)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 夏の親子雪工作第1回ふわふわ雪クッションをつくろう!	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869、北海道立近代美術館

●9月

開催日	プログラム名	会場
2日(火)	札幌国際芸術祭2014 INFORMATION CENTER IN TOKYO 緊急企画 関連トークイベント 「参加アーティストたちが語る・札幌国際芸術祭2014」	渋谷ヒカリエ 8/COURT [東京]
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント うるおばえカラオケ	札幌市内カラオケ店
3日(水)	札幌国際芸術祭2014 INFORMATION CENTER IN TOKYO 緊急企画 関連トークイベント「芸術祭とグラフィックデザイン」	渋谷ヒカリエ Creative Lounge MOV内「aiiima3」 [東京]
5日(金)～ 28日(日)	札幌国際芸術祭2014 チ・カ・ホ学生展(第3期)	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
5日(金)	創造都市さっぽろトークイベント「現場から見た札幌国際芸術祭」	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北2条交差点広場
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント キッシュと一品持ち寄り晩ご飯会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
6日(土)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 人生ガンブラ	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
	札幌国際芸術祭2014 企画展示「都市と自然」関連トーク 「『都市と自然』の背後にある『近代』とは？」	北海道立近代美術館 講堂
	旅プロジェクト第一弾 レクチャー(4) 「豊平川の魚たちと話をしてみよう!」	札幌市資料館 2階ミーティングルーム
	ワークショップ「札幌の都市農業について考える」第3回 ポテトパースペクティブ成果報告会:「ポテト裁判2014」	札幌市資料館 1階刑事法廷展示室
7日(日)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 夏休み親子雪工作第2回カマクラプラネタリウムと紙雪遊び!	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
	コロガル公園 in ネイチャー 子どもあそびばミーティング(2)	札幌市資料館 裏庭
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント あやとりマジックショー	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
	札幌芸術の森美術館 夜間開館「月夜の美術館」	札幌芸術の森美術館
	旅プロジェクト第二弾 空知炭鉱の記憶ツアー(2) そらち炭鉱の記憶アートプロジェクトをめぐる～三笠コース	三笠市、岩見沢市
9日(火)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 子ども音遊び	札幌市内各所
	アートカフェ in 資料館(仮) vol.3 ～メディア・アートを中心に芸術祭を語ろう	札幌市資料館 サッポロ・エホン・カイギ会場
10日(水)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント ハデウォークムービー鑑賞会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
11日(木)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 手作り石けんづくりの会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
12日(金)	500m美術館ギャラリーツアー	札幌大通地下ギャラリー 500m美術館
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 土偶ぬりえの会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
13日(土)	旅プロジェクト第一弾 レクチャー(5) 体験バスツアー「札幌の人間と自然が共生する、新しい都市のかたちを体感しよう!」	藻南公園、ときわ山荘、天神山緑地
	美術館ジュニアガイドツアー	北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館
	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 雪だるま造形教室	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
14日(日)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 馬とオオカミがいっしょにいる音楽会	エドウィン・ダン記念館
	北3条広場上映プログラム関連企画: アーティストトーク「北海道・札幌の映像表現の今」	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
15日 (月・祝)	小中学生対象ワークショップ 「石器ってなに? 道具なの、使えるの、つくれるの?」(2) 「石器をつくる」話と石を磨いてミニチュアの石斧をつくる実験	札幌市資料館 2階研修室
16日(火)	アートカフェ in 資料館(仮) vol.4 ～『坂本龍一さんの仕事、「一石を投じる」アートを語ろう』	札幌市資料館 SIAF 編集局

開催日	プログラム名	会場
17日(水)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント メイクでキレイになる会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
18日(木)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント あみあみ会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
19日(金)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント ウクレレチャーターコンサート	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
20日(土)	札幌芸術の森美術館 夜間開館「さよなら夜霧の会」	札幌芸術の森美術館
	ワークショップ「札幌の都市農業について考える」第4回 TPP レストラン	札幌市資料館 2階連携事業ワークショップルーム
21日(日)	旅プロジェクト第二弾 空知炭鉱の記憶ツアー(3) そらち炭鉱の記憶アートプロジェクトをめぐる ～夕張・送電線コース	夕張市、三笠市
23日 (火・祝)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント ビルの化石巡りツアー	札幌市内各所
	子どもたちを取り巻く環境について考えるシンポジウム 「絵本・公園・教室から始まる未来を創造する場づくりとは？」	札幌市資料館 2階研修室
	札幌芸術の森美術館 夜間開館「さよなら夜霧の会」	札幌芸術の森美術館
	トーク&レクチャー「伊福部昭レコードナイト」	札幌市資料館 2階研修室
24日(水)	SIAF2014特別連携事業 「さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭2014」	茨戸川緑地
25日(木)	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)ガイドツアー	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
	アートカフェ in 資料館(仮) クロージング・フォーラム ～「初めての芸術祭をみんなで語り合おう」	札幌市資料館 2階研修室
26日(金)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 朝活DJ@昼-daylight disco-	札幌市北3条広場
	アーティストトーク「三原聡一郎トーク」	札幌芸術の森 有島武郎旧邸
27日(土)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント 札幌国際芸術祭2159	札幌市資料館 ほか
	島袋道浩関連プログラム アーティストトーク「島袋とシマフクロウ」	札幌市資料館 2階研修室
	サッポロ・エホン・カイギ「サッポロ・エホン・マツリ」	札幌市資料館 サッポロ・エホン・カイギ会場
	毛利悠子関連プログラム「ラジオ サーカスの地中」 in 清華亭	清華亭
	山川冬樹ライブパフォーマンス	PROVO
28日(日)	とくいの銀行 札幌支店 since 1869 ひきだしイベント はなちゃんの誕生日会	札幌市資料館 とくいの銀行 札幌支店 since 1869
	札幌市資料館リノベーションアイデアコンペティション表彰式	札幌市役所 1階ロビー特設会場
	クロージングプログラム 札幌国際芸術祭2014 ファイナルトーク	札幌市役所 1階ロビー特設会場
	サッポロ・エホン・カイギ「サッポロ・エホン・マツリ」	札幌市資料館 サッポロ・エホン・カイギ会場
	島袋道浩関連プログラム アーティストトーク「携帯電話を石器と交換する、とは？」	札幌市資料館 2階研修室
	SDMの秘密に迫る+チ・カ・ホ撤収トーク	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場
29日(月)	ブラインド・ブック・マーケット クロージングイベント「最後の晚餐」	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) ブラインド・ブック・マーケット展示会場

プレフェスティバルイベント

●プレフェスティバルイベント第1弾 札幌の芸術文化史を知ろう！

札幌芸術文化史 公開トーク(全10回)

札幌の芸術文化史におけるキーパーソンを招き、札幌という土地・歴史の中で芸術文化がどのように育まれてきたかなど、現在に至るまでの歩みと現在進行形の動きについて市民と共有する公開トークシリーズを開催した。

○開催日：2013年8月28日(水)～10月30日(水)の毎週水曜 参加無料

○会場：札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北2条交差点広場

○司会：中田 美知子((株)エフエム北海道 常務取締役)

	タイトル	開催日	ゲスト	来場者数
第1回	国際芸術祭への軌跡 ー国際芸術祭は70年代から始まっていたー	8月28日(水)	阿部 典英(美術家)、佐藤 友哉(札幌芸術の森美術館 館長)、吉田 豪介(美術評論家)	200人
第2回	駅裏8号倉庫という現象 ー80年代、先進的な表現の実験場ー	9月4日(水)	飯塚 優子(レッドベリースタジオ 主宰/札幌演劇シーズン実行委員会 事務局長)、小室 治夫(写真研究誌PHOTON+ 主宰)、滝沢 修(TUC+KYOKU 代表)、中島 洋(シアターキノ 代表)	250人
第3回	札幌のアートのリニューアル ーベルリンの壁崩壊以降の流れー	9月11日(水)	伊藤 隆介(映像作家・美術作家/北海道教育大学 教授)、柴田 尚(NPO法人S-AIR 代表理事)、吉崎 元章(札幌芸術の森美術館 副館長)	200人
第4回	札幌ビエンナーレ・プレ企画 ー民間による芸術祭の胎動ー	9月18日(水)	カジタ シノブ(イベントプロデューサー)、西川 吉武(札幌くらぶ 副会長)、端 聡(CAI現代芸術研究所 代表)	200人
第5回	地域のアートプロジェクト ー現代アートにおける地域の可能性ー	9月25日(水)	今村 育子(札幌駅前通まちづくり(株) 企画事業部/美術家)、国松 希根太(彫刻家)、高橋 喜代史(美術家)、藤沢 レオ(美術家)、渡辺 行夫(彫刻家)	200人
第6回	札幌アート界、現在の動き ー企画ギャラリーの台頭、札幌アーティストの現状ー	10月2日(水)	大井 恵子(ギャラリー門馬 代表)、佐野 由美子(CAI現代芸術研究所 ディレクター)、中村 一典(ト・オン・カフェ 代表)、風間 天心(美術家)、富田 哲司(現代美術家)、山本 雄基(画家)	192人
第7回	北海道舞台芸術 ー舞台における様々な実験ー	10月9日(水)	太田 晃正(劇場プロデューサー)、斉藤 ちず(NPO法人コンカリーニョ 理事長)、千田 雅子(札幌舞踊会 代表)、三部 安紀子(北海道二期会 理事長)	177人
第8回	札幌の音楽、先進的な試み ークラシックからノイズまでー	10月16日(水)	木野 哲也(TOBIU CAMPプロデューサー)、竹津 宜男(NPO法人 北海道国際音楽交流協会(ハイメス)副理事長)、沼山 良明(NMA(NOW MUSIC ARTS)主宰)	150人
第9回	札幌のパブリックアート ー公共空間におけるアート作品ー	10月23日(水)	臼井 幸彦(多摩美術大学 客員教授)、國松 明日香(彫刻家/北海道芸術学会 会長)、濱田 暁生((株)シー・アイ・エス計画研究所 代表取締役会長)	219人
第10回	北海道のアート史を振り返って ー歴史を学び未来へ繋ぐー	10月30日(水)	磯田 憲一((公財)北海道文化財団 理事長)、奥岡 茂雄(美術評論家)、北村 清彦(北海道大学 文学研究科 教授)	187人

●プレフェスティバルイベント第2弾 札幌の未来へ向けたビジョンを聴こう！

- ・ゲストディレクター坂本龍一が、市民に「語る・奏でる」2日間。
- ・1日目はシンポジウムを開催し、ゲストディレクターをはじめ、企画アドバイザーやアソシエイト・キュレーターなどの登壇者が、参加アーティストや開催テーマ「都市と自然」に応じたアートプロジェクトなど、SIAF2014が目指す札幌の未来へ向けたビジョンと全容について語り合った。
- ・2日目は、SIAF2014開催に向けて、ゲストディレクター坂本龍一が自ら選曲、演奏する特別ソロ・コンサートを開催した。

①シンポジウム－札幌国際芸術祭が目指すもの－

- 開催日：2013年11月4日（月・休）参加無料・申込制
- 会場：札幌コンサートホールKitara 大ホール
札幌市中央区中島公園1番15号
- 来場者数：1,267人



Photo：高木 将也

内容		登壇者
第1部	オープニング	札幌交響楽団 大平まゆみ(コンサートマスター)によるオープニング演奏
第2部	シンポジウム	ファシリテーター：坂本 龍一(SIAF2014ゲストディレクター) パネリスト：浅田 彰(SIAF2014企画アドバイザー)、飯田 志保子、四方 幸子 (共にSIAF2014アソシエイト・キュレーター)、端 聡(SIAF2014地域ディレクター) ※以下、SIAF2014関係者の肩書きは省略
第3部	ウェルカムコンサート	大平 まゆみ(コンサートマスター)、伊藤 亮太郎(コンサートマスター)、 大森 潤子(第2ヴァイオリン首席奏者)、廣狩 亮(ヴィオラ首席奏者)、 石川 祐支(チェロ首席奏者)

②Ryuichi Sakamoto | Playing the Piano－札幌国際芸術祭開催に向けて－

- 開催日：2013年11月5日（火）
- 会場：札幌コンサートホールKitara 大ホール
- 料金：全席指定 6,300円（税込）／学生シート 4,200円（税込）
- 来場者数：1,444人

●プレフェスティバルイベント第3弾 札幌国際芸術祭にもっと関わろう！

トーク＆ワークショップ(全19回開催)

SIAF2014のテーマ＆メッセージに基づいたレクチャーやワークショップなど、市民が参加・交流・体験できるプログラムを開催した。

- 開催日：2013年10月19日(土)～2014年3月23日(日)
参加無料・申込制 ※一部定員なし(申込不要)

①札幌国際芸術祭トーク&レクチャー(全4回)

	タイトル	開催日	会場	登壇者	来場者数
第1回	国際芸術祭の「なぜ? どうして?」「どうやって?」	11月9日(土)	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	モデレーター: 飯田 志保子 ゲスト: 山出 淳也(NPO法人 BEPPU ART PROJECT 代表理事/アーティスト)、拝戸 雅彦(愛知県県民生活部文化芸術課芸術祭推進室主任主査/あいちトリエンナーレ2013キュレーター)、帆足 亜紀(アートコーディネーター)	102人
第2回	都市や日常へ広がる表現 ーメディア・アートと札幌国際芸術祭	12月14日(土)	札幌市資料館 2階研修室	モデレーター: 四方 幸子 ゲスト: エキソニモ(メディアアーティスト)、武邑 光裕(札幌市立大学 デザイン学部 教授/札幌メディア・アーツ・ラボ(SMAL) 所長)	89人
第3回	「雪博士」中谷宇吉郎が遺したもの	2月16日(日)	札幌市資料館 2階研修室	モデレーター: 飯田 志保子 ゲスト: 神田 健三(中谷宇吉郎 雪の科学館 館長)	75人
第4回	アートと社会の新しい関係 ー21世紀における<社会彫刻>とは?	3月16日(日)	札幌市資料館 2階研修室	モデレーター: 四方 幸子 ゲスト: 福元 崇志(国立国際美術館 研究補佐員)、端 聡(CAI現代芸術研究所 代表/美術家/アートディレクター)	49人

②都市緑化ワークショップ「札幌は森になれるのか?」(全6回)

○講師: 笠 康三郎((有)緑化計画 代表取締役/北海道景観審議会 副会長/北海道大学 農学部 非常勤講師 / NPO 法人 ガーデンアイランド北海道 理事)

	タイトル	開催日	会場	参加者数
第1回	伏流水と都市導線における関連性を探るフィールドワーク	10月19日(土)	越山計画	10人
第2回	都市緑化の実践事例及び実施可能性を探るフィールドワーク	11月10日(日)	さっぽろ大通コワーキングスペース ドリノキ	7人
第3回	都市緑化による商業地区の集客効果のリサーチ	11月23日(土・祝)	さっぽろ大通コワーキングスペース ドリノキ	7人
第4回	草の根ベースの都市緑化への取り組み(自立式の緑化ベースデザイン)	11月24日(日)	さっぽろ大通コワーキングスペース ドリノキ	9人
第5回	グループディスカッション(まとめ作業)	12月7日(土)	越山計画	6人
第6回	フィールドワーク&ワークショップのグループ発表	3月23日(日)	札幌市資料館 2階研修室	33人

③サウンドプロジェクトワークショップー都市の音を考えるー(全2回)

○ファシリテーター: 須之内 元洋(札幌市立大学 助教/43d 共同主宰)
大黒 淳一(サウンドアーティスト/43d 共同主宰)

	タイトル	開催日	会場	ゲスト	参加者数
第1回	まちのおと探検隊	11月30日(土)	札幌市立大学 サテライトキャンパス	アサダ ワタル(日常編集家)	18人
第2回	Tuning the Sound of Sapporo!!	12月8日(日)	越山計画	小野寺 唯(音楽家/建築音響デザイナー)	9人

④「芸術祭的視点からアートツーリズムを探る」ワークショップ(全5回)

○ファシリテーター・コーディネーター：五十嵐 太(コーディネーター／(株) マルゴ)

	タイトル	開催日	会場	参加者数
第1回	札幌国際芸術祭2014テーマ&概要レクチャー／意見交換&アイデア出し	1月26日(日)	越山計画	21人
第2回	フィールドワーク①(札幌市内、周辺地域)推奨ルート開発会議／検証	2月2日(日)	越山計画	14人
第3回	フィールドワーク②(札幌市外連携地域)推奨ルート開発会議／検証	2月9日(日)	越山計画	14人
第4回	アートツアールートプレゼン資料作成	2月16日(日)	越山計画	11人
第5回	札幌国際芸術祭2014アートツアールート発表報告会	3月23日(日)	札幌市資料館 2階研修室	30人

⑤札幌から育つ、夢見る子どもたちの未来へー子ども映画制作ワークショップの現場からー

○開催日：3月14日(金)

○会場：シアターキノA館

○ゲスト：濱谷 雅広(コトニ夢映画制作プロジェクト 委員長代行／北海道工業大学 未来デザイン学部 教授)
坂本 優乃(「僕らの興味期限切れの夏」脚本／「茜色クラリネット」監督)
早川 渉(「茜色クラリネット」指導監督)

○司会：猪熊 梨恵(NPO法人 札幌オオドオリ大学 学長)

○来場者数：27人

⑥シンポジウム「札幌市資料館を再考する」ーアートによる歴史的建造物の活用と展望ー

○開催日：3月23日(日)

○会場：札幌市資料館 2階研修室

○ゲスト：芹沢 高志(デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長)
角 幸博(NPO法人 歴史的地域資産研究機構 代表理事)、端 聡(CAI現代芸術研究所 代表)

○モデレーター：猪熊 梨恵(NPO法人 札幌オオドオリ大学 学長)

○来場者数：58人

●札幌国際芸術祭トーク&レクチャー(全3回)

SIAF2014アソシエイト・キュレーターが講師となり、参加アーティスト、作品、企画のコンセプトなどについて、来場者にわかりやすく解説した。

○会場：札幌市資料館 2階研修室

	タイトル	開催日	登壇者	来場者数
第1回	水脈から創脈へー「センシング・ストリームズ」と「アート×ライフ」プロジェクトについて	4月19日(土)	講師：四方 幸子	72人
第2回	「都市と自然」とアートの出会いー芸術祭のテーマと美術館の展覧会について	5月18日(日)	講師：飯田 志保子	55人
第3回	READY GO!ー芸術祭へ向けて	6月1日(日)	講師：飯田 志保子、四方 幸子 ゲスト：島袋 道浩、暮らしかた冒険家	50人

連携事業

●特別連携事業

SI AF2014のテーマと親和性が高く、企画や広報で相互に協力を行うことが可能な北海道内で実施する事業を「特別連携事業」とし、相互に事業協力や広報協力などを図った。

事業名	主催者	会場	開催期間	参加者数(人)
札幌国際芸術祭に参加しよう！ 自分ができることってどんなもの？	ACF 芸術文化フォーラム、 NPO法人 札幌オオドリ大学	越山計画	2013年12月21日(土)	60
さっぽろふるさとの森づくり 植樹祭&育樹祭2014	札幌市環境局みどりの推進部 みどりの推進課	茨戸川緑地	9月24日(水)	1,400

●連携事業

SI AF2014のテーマと親和性があり、企画や広報で連携を図ることが可能な市内および近郊で実施する事業を「連携事業」とし、90件の事業と企画の連動や相互の広報協力などを図った。

No.	事業名	主催者	会場	開催期間	参加者数(人)
1	アートフェア札幌2013	アートフェア札幌2013実行委員会	クロスホテル札幌	2013年11月22日～24日	1,500
2	連続フォーラム 札幌を創った「近代」の底力を学ぶ — 空知産炭地域から札幌への問いかけ —	NPO法人 炭鉱の記憶推進事業団	CAIO2	2月18日～21日、24日、 25日	200
3	LIGHT UP NIPPON HOKKAIDO	LIGHT UP NIPPON HOKKAIDO実行 委員会	銭函、滝野すずらん公園 ほか	4月～8月11日	300
4	ジャガイモの視点から見る世界；＜農業と芸術＞を めぐる北欧と日本のアーティストの対話	ジャガイモを巡る北欧と日本の対話実 行委員会	北海道大学、エコ・カレッジ ほか	4月～9月	280
5	百合が原公園フラワーアート事業	札幌市公園緑化協会	百合が原公園 百合が原緑のセンター	4月15日～9月28日	48,494
6	「札幌夜景空撮」写真展	札幌観光協会	北海道さっぽろ「食と観光」情報 館	4月21日～5月31日	143,540
7	札幌映像制作若手育成事業「この砂赤い赤い」制作	NPO法人 北海道コミュニティシネマ・ 札幌	札幌市資料館、宮の森美術館、 豊平川、シアターキノ、ユニブ ラス ほか	5月10日～10月11日	460
8	Artelligentな音楽会 ～ピアノ輝き、響く途上の建築～	JaXon project	スタジオ・シンフォニカ	5月14日	35
9	Dream A Better Dream (チ・カ・ホ)	(同)Brilliant color international	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ ホ) 北3条交差点広場	5月17日	3,800
10	第569回 札幌交響楽団定期演奏会 ～伊福部昭生誕100年記念プログラム	札幌交響楽団	札幌コンサートホールKitara	5月30日、31日	2,456
11	「アンゼラム・キーマー」と「中谷芙二子」の芸術を 理解するための入門講座	北翔大学 芸術学科	北翔大学 北方圏学術情報セン ター「ポルト」	5月31日	40
12	札幌軟石まつり2014	札幌軟石まつり実行委員会	札幌市南区石山地区	6月1日～30日	1,000
13	厚田からの贈り物	藤女子大学	石狩市厚田区	6月4日～15日	30
14	New Eyes 2014「Our Place ～歩く・感じる・考える、私たちの生きる場所～」	札幌市芸術文化財団	本郷新記念札幌彫刻美術館 本館	6月7日～9月28日	2,693
15	音遊びの会 ドキュメンタリー 『音の城』音の海・SOUND to MUSIC-』上映会	ZAPT	ト・オン・カフェ	6月12日、13日	34
16	札幌平岸高校 デザインアートコース・札幌市資料館・ サッポロファクトリーレンガ館 プロジェクト	北海道札幌平岸高等学校	札幌市資料館、 サッポロファクトリーレンガ館	6月23日、26日	800
17	森のカフェフェス in ニセコ 夜の部	(有)サンサン	ヒルトンニセコビレッジ	6月28日	500
18	北海道初！「フィリップ・ワイズベッカー展」	Kita:Kara Gallery	Kita:Kara Gallery	6月30日～8月2日	1,100
19	伏古商店街アート化プロジェクト	伏古商店街振興会	伏古商店街	7月～2015年3月	290
20	土木コレクション2014 in札幌 HANDS & EYES	土木学会 北海道支部	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)	7月3日～6日	10,000
21	阿部典英展「ネダナンナサン あるいは月・影・漂」	札幌宮の森美術館	札幌宮の森美術館	7月3日～31日	502
22	SAPPORO CROSSING	札幌洋舞連盟 ダンスパフォーマンス [SAPPORO CROSSING]運営委員会	そらのガーデン、モエレ沼公園 ミュージックシェル	7月4日 そらのガーデン 7月6日 モエレ沼公園	1,100
23	Sprouting Garden - 萌ゆる森 -	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森(野外美術館、佐藤 忠良記念子どもアトリエ ほか) 関口雄揮記念美術館	7月5日～11月3日	54,704
24	再生された声 ホリー・ワーバートン	ZAPT	ト・オン・カフェ	7月7日～13日	33
25	マレウレウ+松永芳朗「鯨の頭から」展	「鯨の頭から」展実行委員会	ハンモックベース・カフェ	7月8日～8月1日	220
26	平成26年度常設展「文学館アーカイブ」 「掛川源一郎の写真-風景の起源へ」	北海道立文学館	北海道立文学館 常設展示室 「文学館アーカイブ」コーナー	7月8日～9月28日	3,084
27	Sapporo Conception 札幌現代アート交流展2014	Sapporo Conception of Art 実行委 員会	ギャラリーレタラ ほか	7月9日～9月28日	2,500
28	PMF2014アウトリーチコンサート	パシフィック・ミュージック・フェス ティバル組織委員会	札幌芸術の森美術館、札幌市資 料館、北海道立近代美術館、 大通公園西6丁目 ほか	7月9日～31日	838
29	フラワーアートパーク滝野2014	SPAC 滝野管理センター	滝野すずらん丘陵公園	7月12日～10月5日	209,847
30	札幌市立大学メディアアートプロジェクト	札幌市立大学	札幌市立大学 サテライトキャ ンパス、札幌市資料館 ほか	7月12日～9月28日	204
31	カルチャーナイト2014	NPO法人 カルチャーナイト北海道	札幌市内各所	7月18日	22,649
32	札幌市写真文化振興事業 北一条さっぽろ歴史写真館展示「札幌の公園」	NPO法人 北海道を発信する写真家 ネットワーク	北一条さっぽろ歴史写真館	7月18日～2015年3月頃	—
33	アート de トライアルスナガワ ～ともに語ろう・人と自然	砂川市	砂川市内各所	7月19日～9月28日	8,272

No.	事業名	主催者	会場	開催期間	参加者数(人)
34	ハコレン／Hacoren ー札幌ギャラリーネットワークー	ハコレン(札幌ギャラリーネットワーク)	札幌市内ギャラリー	7月19日～9月28日	16,000
35	ACTINIUM展覧会／フォーラム／フィールドトリップ	NPO法人 S-AIR	OYOYO まち×アートセンター さっぽろ	7月19日～8月3日	420
36	本郷「まちかど文化祭」事業	本郷商店街振興組合	本郷商店街	7月19日～9月28日	40
37	苫小牧市美術館 開館1周年記念特別展 「青森県立美術館コレクション展 アオモリ・アヴァンギャルド：堆積する創造のエネルギー」	苫小牧市美術館	苫小牧市美術館	7月19日～9月15日	5,804
38	自転車共同利用サービス「ポロクル」MAP製作とツアー開催	(株)ドーンコモビリティデザイン	札幌市内中心部	7月19日～9月28日	1,190
39	ワークショップ「札幌の都市農業について考える」	農業を考える市民とアーティストの会	札幌市資料館	7月19日～9月28日	128
40	札幌ハルニレプロジェクト	札幌ハルニレプロジェクト	札幌市資料館、さっぽろテレビ塔	7月19日～9月28日	16
41	HIGHBALL GARDEN in 北3条広場	サントリーピア&スピリッツ(株)	札幌市北3条広場	7月19日～8月3日	4,000
42	和喜達合 Vol.2～和心で自然を感じる街と人～	県Japan～KANAE JAPAN～	大通ずわろうテラス	7月19日～21日	300
43	中谷宇吉郎復元研究室のガイドツアー	北海道大学総合博物館、 北海道大学大学院 文学研究科	北海道大学総合博物館	7月20日～9月28日 の土・日曜	349
44	竹村真一「触れる地球」展	(株)グランビスタ ホテル&リゾート	札幌グランドホテル グランビスタギャラリー サッポロ	7月23日～9月15日	1,491
45	文化公園アートフェスティバル2014	文化公園アートフェスティバル実行委員会	苫小牧市民文化公園 ほか	7月26日、27日	5,300
46	白石サイクリングロード モザイクタイルアート	東札幌小学校、東札幌まちづくり協議会、札幌市白石区、札幌コンベンションセンター	白石サイクリングロード東札幌地区	7月27日～8月9日	600
47	北海道ワイン&チーズセミナー	北海道・札幌市政策研究みらい会議	札幌市資料館	7月27日	50
48	“イランカラプテ” ミュージック・フェスティバル2014	“イランカラプテ” ミュージック・フェスティバル実行委員会	サッポロミュージックテント、 ばんけいの森ベルクヒュッテ	7月30日～8月2日	610
49	札幌演劇シーズン2014ー夏	札幌演劇シーズン実行委員会	コンカリーニョ、シアターZOO、 演劇専用小劇場BLOCH、 ターミナルプラザことにパトス	8月1日～31日	4,650
50	文化庁メディア芸術祭 札幌巡回	文化庁	北翔大学 北方圏学術情報センター「ポルト」	8月1日～10日	1,690
51	Dream A Better Dream (札幌PARCO)	(同)Brilliant color international	札幌PARCO、 北海道安達学園 大通公園ホール	8月2日、3日	420
52	「ART ROUTE 276」～峠むこうのふる里づくり	札幌市立大学	喜茂別町鈴川地区	8月2日～24日の土・日曜	100
53	学生CGコンテスト20周年記念イベント	CG-ARTS協会	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	8月4日	200
54	「FROM HOPE」絵本作家が北から描く“これから”	Kita:Kara Gallery	Kita:Kara Gallery	8月4日～30日	1,250
55	研究者は世界を駆ける ～北大文学研究科のフィールドワーク～	北海道大学大学院 文学研究科 北大文学部カフェ実行委員会	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	8月6日	420
56	切り絵で雪の結晶をつくりました	日本気象協会 北海道支社	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	8月8日	150
57	創造都市ネットワーク日本 創造都市政策セミナー「芸術祭と創造都市」	文化庁、創造都市ネットワーク日本	北海道大学 ファカルティハウス「エンレイソウ」	8月8日	84
58	大友良英スペシャルビッグバンド in SAPPORO	NMA (NOW MUSIC ARTS)	ターミナルプラザことにパトス	8月9日	160
59	札幌芸術の森 All Night INDIA! ～インド式に聴こう～	オールナイトインディア実行委員会	札幌芸術の森(絵画アトリエA・B、多目的アトリエ)	8月9日、10日	129
60	福島のこけし風マラカスを作って、オーケストラSAPPORO!に参加しよう	安倍 隆	札幌エルプラザ	8月10日	11
61	第9回 札幌国際短編映画祭	SAPPORO ショートフェスト実行委員会	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場、大通公園	8月11日～9月28日	576
62	なつやすみプログラミング体験 ～うちわにスケッチしよう～	サイエンスサークルALCLE	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	8月12日、13日	200
63	Kitara Kids ミュージック&アーツクラブ 第1回	札幌市芸術文化財団	札幌コンサートホールKitara	8月14日	59
64	食とアートが会えるマルシェ	日本で最も美しい村づくり北海道連携会議	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	8月16日～24日	85,000
65	白石サイクリングロード モザイクタイルアート	白石東地区まちづくり協議会	白石サイクリングロード白石東地区	8月17日～30日	700
66	アートなカタチの再生 ～イモリ・ウーパールーパー・プラナリア～	「三次元構造を再構築する再生原理の 解明」研究者グループ	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	8月21日	270
67	Sapporo Neutral	(株)ウエス	札幌市内ライブハウス	8月22日～9月7日	759
68	そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2014	札幌市立大学	三笠市旧弁別炭鉱ホッパー ほか	8月23日～10月13日の土・日曜、祝日	4,850
69	HOLLAND JAPONISM	O-Jewel	さっぽろ天神山アートスタジオ	8月16日～9月12日	150
70	北大マルシェ2014	北大マルシェ2014実行委員会	北海道大学 農学部前	8月23日、24日	7,000
71	第571回 札幌交響楽団定期演奏会 ～早坂文雄生誕100周年記念プログラム	札幌交響楽団	札幌コンサートホールKitara	8月29日、30日	2,344
72	東海大学 デザイン文化学科 プロジェクト展 ～大学生が地域とコラボレーションする創造都市～	東海大学 国際文化学部デザイン文化学科	紀伊国屋書店 札幌本店	8月29日～9月4日	540
73	SAPPORO Flower Carpet 2014	札幌駅前通地区活性化委員会	札幌市北3条広場	8月29日～31日	150,000
74	北海道フィルムアートフェスティバル	NPO法人 北海道コミュニティシネマ・札幌	シアターキノ	8月30日～9月5日	452
75	「表出する写真、北海道」展	NPO法人 北海道を発信する写真家ネットワーク	コンチネンタルギャラリー	9月2日～21日	1,233
76	北大アーティストカフェ	北海道大学 創成研究機構	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	9月4日～25日の木曜	250
77	遠藤 享 版画展	Kita:Kara Gallery	Kita:Kara Gallery	9月4日～30日	800
78	飛生芸術祭2014	飛生芸術祭実行委員会	飛生アートコミュニティー	9月7日～14日	1,200
79	竹村 真一×山崎 直子×荒井 一利 特別対談 宇宙、地球そして海	(株)グランビスタ ホテル&リゾート	札幌グランドホテル	9月7日	230
80	トーカブル・ベジタブル・プロジェクト	狸小路道産食彩協議会	道産食彩HUG	9月11日～15日	650
81	TOBIU CAMP 2014	TOBIU CAMP 実行委員会、 飛生芸術祭実行委員会	飛生アートコミュニティー ほか	9月13日、14日	800
82	岡部 昌生フロッタージュプロジェクト2014 札幌ラウンドテーブル「札幌で語る(近代)」	はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト実行委員会、札幌で語る(近代)実行委員会	札幌市資料館	9月13日	50
83	ちょこっとクリエイティブPROJECT	札幌広域圏組合	当別町立弁華別小学校	9月14日	922
84	All you need is wonder ～サイエンスとアートが世界を変える～	北海道大学 CoSTEP	札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場	9月15日、22日	90
85	GAP2014 日比野克彦アートワークショップ	(株)グランビスタ ホテル&リゾート	札幌グランドホテル	9月15日	50

No.	事業名	主催者	会場	開催期間	参加者数(人)
86	すすきの夜のトリエンナーレ2014	すすきの夜のトリエンナーレ実行委員会	第21 桂和ビル	9月19日～27日	500
87	モエシ沼芸術花火2014	モエシ沼芸術花火開催委員会	モエシ沼公園	9月20日	14,760
88	時計台舞台「思考の境界」	札幌時計台舞台「思考の境界」実行委員会	札幌時計台	9月22日～28日	730
89	もいわく展!(Moiwork exhibition)	札幌市もいわ地区センター運営委員会	札幌市もいわ地区センター	9月28日	300
90	札幌市民芸術祭2014	札幌市民芸術祭実行委員会	札幌市教育文化会館、 札幌市民ギャラリー ほか	通年	14,619

●同時期開催事業

SIAF2014の開催期間中に、共に札幌を盛り上げるため、文化芸術団体などが市内で開催する事業を「同時期開催事業」とし、69件の事業と相互の広報協力などを図った。

No.	事業名	主催者	会場	開催期間	参加者数(人)
1	ミニ・コレクション展 本郷新と旅	札幌市芸術文化財団	本郷新記念札幌彫刻美術館 記念館	4月15日～10月19日	2,932
2	札幌芸術の森野外美術館事業	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森野外美術館	4月29日～11月3日	72,319
3	芸森アートマーケット2014	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森	4月29日～11月3日	3,885
4	グリーンカーテンプロジェクト	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森 芸術の森センター	5月9日～10月28日	—
5	花によるウェルカムロード	芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会	芸術の森フラワーロード	6月1日～10月26日	140
6	佐々木 秀明 展(雲を聴く)	φ(ファイ)	φ(ファイ)	7月3日～8月26日	2,000
7	クラフトで乾杯! 入賞・入選作品展	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森 工芸館	7月5日～8月31日	17,493
8	JRタワー・アートプラネット2014 「ブラットホームー彼方へ」	札幌駅総合開発(株)	プラニスホール	7月5日～27日	1,153
9	北海道大学総合博物館 夏季企画展示 「学船 洋上のキャンパスおもしろ丸」展	北海道大学総合博物館、 北海道大学大学院 文学研究科	北海道大学総合博物館	7月11日～11月3日	55,000
10	自然と人とのライフスタイルの提案	(株)24 K	札幌スタイルショーケース、 CLARK GALLERY + SHIFT	7月11日～8月3日	700
11	ウリュウ ユウキ 個展「white,and」	瓜生 裕樹	ギャラリー犬養	7月16日～28日	450
12	茶廊・品品法品ギャラリー開催展	法品芸術文化振興会	茶廊法品ギャラリー、 品品法品ギャラリー	7月19日～9月28日	3,500
13	第12回 太平百合が原夏まつり	太平百合が原連合町内会	太平あおぞら公園	7月19日、20日	2,084
14	北海道ダンスプロジェクト公演 「HDP DANCE PREMIUM 2014」	北海道ダンスプロジェクト	さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール	7月21日	2,029
15	KUNIO11「ハムレット」	札幌市芸術文化財団	札幌市教育文化会館	7月22日～25日	190
16	Patagonia「パンフ・マウンテン・フィルム・フェスティバル」過去作品上映会	パタゴニア アウトレット札幌南	パタゴニア札幌北、 パタゴニアアウトレット札幌南	7月24日、9月18日、 25日	103
17	第16回 ノースロード24フェスタ2014	スローライフ・イン・に～よん実行委員会	札幌サンプラザ前広場	7月24日、25日	—
18	2014さっぽろ旭山音楽祭	さっぽろ旭山うた祭りの会	旭山記念公園	7月25日	7,000
19	第25回 幌北ふるさと夏祭り	幌北連合町内会	幌北小学校グラウンド	7月26日 ※中止	—
20	芸森マルシェ	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森 芸術の森センター	7月27日、8月10日、 24日、9月21日	622
21	第5回 鼓舞音の会	鼓舞音	かでの2・7	7月27日	500
22	芸森ハッピーバースデー	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森	7月27日	2,454
23	札幌大谷大学 版画分野「ONOMATOPE'E」	札幌大谷大学	大同ギャラリー	7月31日～8月5日	132
24	sato + Lahir=Biennale 2012→2013	sato(佐藤 嘉恵)	BROWN BOOKS CAFE 南3条店	8月1日～14日	50
25	オリジナルポストカード展「+P9」	ドラマチッククリエイション&エンターテインメント企画	4丁目プラザ	8月1日～10日	2,998
26	教文演劇フェスティバル2014	札幌市芸術文化財団	札幌市教育文化会館	8月2日～28日	909
27	Connekid! in そらのガーデン「しゃぼん玉とんだ!」	札幌駅総合開発(株)	そらのガーデン、 プラニスホール	8月2日	400
28	ものづくりワクワワークスショップ 「3Dプリンターを使ってみよう」	さっぽろ産業振興財団	インタークロス・クリエイティブ・センター	8月2日、3日	35
29	平成26年度 第35回「木の手づくり展(札幌)」	北海道おといねっぶ美術工芸高等学校	北海道庁道民ホール	8月4日～6日	676
30	トリエンナーレにふれるアートな夏休み事業	芸術の森地区連合会	札幌芸術の森	8月6日、7日	68
31	札幌芸術の森パレエセミナー2014	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森	8月6日～14日	249
32	2014札幌市中文連演劇ワークショップ上級編 5日間でつくる中学生による演劇 「翔べ!原子力ロボむつ」	札幌市中学校文化連盟 演劇専門委員会	北海道青少年会館コンパス	8月7日～11日	200
33	夏休みオルガンアドベンチャー	札幌市芸術文化財団	札幌コンサートホール Kitara	8月16日	539
34	人間力を育む教育フォーラム —少子高齢社会が求める人材育成—	北翔大学	ロイトン札幌	8月16日	150
35	第16代札幌コンサートホール専属オルガニスト オクタヴィアン・ソニエ フェアウエルオルガンリサイタル	札幌市芸術文化財団	札幌コンサートホール Kitara	8月24日	548
36	マイケル・エディ & ミキオ・サイトウ展	Michael Eddy and Mikio Saito	ギャラリー犬養	8月27日～9月1日	250
37	岡部 昌生展「風に触れる」	φ(ファイ)	φ(ファイ)	8月28日～10月30日	3,000
38	KIT_A「ROADCONE WITH…」	KIT_A	大同ギャラリー	8月28日～9月2日	250
39	第7回 Kmataピアノコンサート	ピアノサークル Kmata	札幌時計台	8月30日	70
40	第9回 清田区演劇のつどい 札幌座公演 「瀧死の王様」	清田区演劇のつどい	清田区民センター	8月31日	191
41	サイトウ・キネン・フェスティバル松本2014 スクリーンコンサート	北海道テレビ放送(株)	パセオ テルミヌス広場	9月2日	400
42	JAM GENERATION2 ～北海学園大学 写真部「同時代」展運営委員会	北海学園大学 写真部「同時代」展運営委員会	札幌市民ギャラリー	9月2日～7日	400
43	秋の芸術展	札幌市すみかわ地区センター運営委員会	札幌市すみかわ地区センター	9月5日～13日	945
44	シニアの創造発信 —デジタルアートの夢—	新陽パソコン倶楽部(Project SHINYO)	サッポロファクトリー ウォールギャラリー	9月5日～30日	—
45	One more step 心と身体のダンスクリエイション	現代舞踊協会 北海道支部	かでの2・7	9月6日、7日	197
46	フラワーガーデンing写真展	藤野地区町内会連合会	札幌市藤野地区センター	9月6日、7日	275
47	藤野地区文化展	藤野地区町内会連合会	札幌市藤野地区センター	9月6日、7日	275

No.	事業名	主催者	会場	開催期間	参加者数(人)
48	「三岸好太郎と札幌の山—三岸好太郎作《北海道風景(大通公園)》(筑波大学所蔵)をめぐって」展	北海道大学総合博物館、北海道大学院 文学研究科	北海道大学総合博物館	9月6日～9月28日	8,617
49	市営交通子ども絵画展2014	札幌市交通事業振興公社	地下鉄大通駅構内 ほか	9月12日～11月26日	217
50	北と手仕事2014 さわやぐかたち	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森 工芸館	9月6日～11月3日	18,711
51	きたまえ！札幌☆マンガ・アニメフェスティバル2014	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森(アートホール、野外ステージ ほか)	9月13日～15日	18,146
52	ist 15th concert	istの会	札幌市時計台ホール	9月13日	90
53	宮の森アルテ・ムジクス 第7回秋季定期演奏会	宮の森アルテ・ムジクス	札幌コンサートホールKitara	9月14日	250
54	北海道指定有形文化財「旧永山武四郎邸」にいけるⅢ ～一日限りの花展～	草月流グループフリーデル	旧永山武四郎邸	9月14日	203
55	Artelligentな音楽会Ⅱ	JaXon project	スタジオ・シンフォニカ	9月14日、15日	40
56	もっとにっこり！鉄西秋祭り	鉄西まちづくり学生推進委員会	さつき公園	9月14日	1,000
57	中平 穂積 写真展「JAZZ GIANTS 1961-2013」	(株)グランビスタ ホテル&リゾート	札幌グランドホテル グランビスタギャラリー サッポロ	9月18日～10月21日	1,680
58	中平 穂積 写真展「JAZZ GIANTS 1961-2013」運動イベント 寺久保エリナ・グレースマヤー JAZZ イベント	(株)グランビスタ ホテル&リゾート	札幌グランドホテル	9月18日	200
59	ディンブルアート体験教室	ディンブルアート札幌支部	札幌市資料館	9月20日、21日	61
60	第30回記念北海道ボランティアコンサート「1999人の第九」	「1999人の第九」の会	札幌コンサートホールKitara	9月21日	1,490
61	triorganic vol.2 ～フルート、ファゴット、ギターで更新する文脈	コスミック201	ル・クレス南円山 ミュージアムホール	9月21日	53
62	Moskitoo Live in Sapporo	金子 由生子	ハンモックベース・カフェ	9月21日	40
63	SORA秋まつり2014	札幌コンベンションセンター	札幌コンベンションセンター	9月21日	300
64	第4回 札幌ドームこども絵画展	(株)札幌ドーム	札幌ドーム	9月26日～10月13日	—
65	2014 ひらおか庭園コンサート in 樹芸センター	環境サポーターズ「三次郎の会」	平岡樹芸センター	9月27日	963
66	第19回 もいわ地区センター文化祭	札幌市もいわ地区センター運営委員会	札幌市もいわ地区センター	9月27日、28日	400
67	第15期 札幌・ジュニア・ジャズスクール	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森 工芸館 ほか	通年	59
68	工芸・版画講習会	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森	通年	5,154
69	子どもアトリエワークショップ	札幌市芸術文化財団	札幌芸術の森美術館 佐藤忠良記念子どもアトリエ	通年	1,027

●創造都市さっぽろ推進プログラム事業

札幌市が主催・共催または関連する事業で、SIAF2014の開催目的に賛同し、アートまたは創造性の視点を取り入れた事業を「創造都市さっぽろ推進プログラム事業」とし、116件の事業と連携が行われた。

No.	事業名
1	地下鉄真駒内駅魅力アップ事業
2	さっぽろアートステージ2013
3	平成25年度 さっぽろ市民表彰式
4	生ごみ減量普及啓発事業(TRY!ー10%生ごみダイエットキャンペーン)における札幌発生ごみ水切り器の配布)
5	とくとくキャンペーン(国民健康保険)
6	安全安心パネル展
7	こども・あーと・にしく「見立てーズ」
8	アサバ雪灯レク&スノーアートスクール
9	公園情報及び札幌国際芸術祭2014カウントダウン用ホームページ parclock の作成
10	西区文化フェスタ2014
11	東区民センターロビーコンサート
12	ウインタースポーツフェスタ in 大倉山
13	コトニ☆ナイト VOL.4
14	げんキッズフェス2014 ～とびだせ!じどうかいかん～
15	森の花壇造成(都市公園ブランド力創造事業)
16	あつぱつふれあいプログラム「あつぱつ区民音楽祭」
17	コトニ☆ナイト VOL.5
18	ミモザコンサート
19	西区シネマ
20	地下鉄駅メトロギャラリー
21	8ミリフィルムアーカイブ化による地域の歴史伝承事業
22	子どもの美術体験事業「おとどけアート」
23	都市緑化空間のおすすめマップの作成
24	民有地緑化推進(みどり豊かなまちづくり支援事業)
25	元気デザイン向上事業
26	初心者のための人形劇講座
27	スマート緑化推進事業
28	ボーダー花壇造成(都市公園ブランド力創造事業)
29	子どもの美術体験事業「ハロー!ミュージアム」
30	下水道河川写真
31	さっぽろ円山動物園ラッピングバス事業
32	第38回 i・ミュージアム企画展「日本固有のスマイル、北方圏のスマイル～スマイル植物画展」
33	大通公園の芝質グレードアップ(都市公園ブランド力創造事業)
34	経験者のための人形劇講座
35	第38回 i・ミュージアム企画展関連講座「植物を描こう」
36	やまびこ遊楽舎
37	市役所前おもてなし花壇(都市部みどりの空間づくり事業)
38	パペットユーススクール
39	ざ・にんぎょうじょうりユースクラス
40	人形浄瑠璃講習会
41	大通界限フラワーコンテナ(都市公園ブランド力創造事業)
42	みてきて!元気な北区食まち推進事業 ～手洗い啓発ポスター展～

No.	事業名
43	「南区再発見」写真展&大人の塗り絵展
44	コトニ クラシック
45	第39回 i・ミュージアム企画展「札幌の緑地、20年でどう変わった?市内3カ所の調査から～」展
46	生物多様性さっぽろ絵本コンテスト
47	札幌市公文書館企画展示「公文書で検証する都市計画パネル展」
48	スロウな小径(都市部みどりの空間づくり事業)
49	コトニ ジャズ
50	義太夫講習会
51	さっぽろ水道フェスタ2014
52	さっぽろキャンドルナイト2014
53	札幌市北区写真展
54	第10回 白石区子どもワンダーランド
55	百合が原音楽祭
56	小生による「まちもりシャッターアート」
57	水の花壇(都市部みどりの空間づくり事業)
58	スケルトンバックカー車
59	いいとこ撮り北海道フォトコンサミット in Sapporo
60	JR札幌駅前おもてなし花壇(都市部みどりの空間づくり事業)
61	サッポロ・シティ・ジャズ2014(フェスティバルプログラム)
62	来たれ専門高校生!活かそうみんなの専門・協働事業 作品展
63	三國清三シェフによる子ども食農セミナー
64	コトニ☆ナイト VOL.6
65	出前展示「Root 植物の地中生活～北1条通りにて～」
66	フラワーハンギング設置(都市公園ブランド力創造事業)
67	市民ロビーコンサート
68	さっぽろ円山動物園壁面アート事業
69	市民参加型オブジェ制作展示(札幌市リユースプラザ)
70	坂本龍一「都市と自然」セレクション(札幌市中央図書館)
71	市民参加型オブジェ制作展示(札幌市リサイクルプラザ)
72	つながる ひろがる 命の輪 ～生物多様性アート in 札幌市時計台
73	第23回 ていね夏あかり
74	第40回 サッポロ豊平川イカダ下り大会
75	白石区子ども遊芽カーニバル2014
76	さぽーととと基金PRイベント
77	元気カフェ・スマイルコンサート
78	PMF2014清田区公演
79	やまびこ座・こぐま座「夏の特別公演」
80	縄文土器づくり
81	第22回 とよひらフラワーコンサート
82	こども・あーと・にしく「空中に魚を泳がせよう」
83	札幌国際短編映画祭PR上映会「きたっこシアター」
84	環境広場さっぽろ2014
85	札幌市博物館活動センター体験学習会「化石研究体験教室」
86	前田森林公園フラワーアートウィーク～アートっていいね!

No.	事業名
87	札幌クリエイティブ・カンパニー・フォーラム&初音ミク「30システム」展示
88	姉妹都市少年交流における芸術に関するワークショップ
89	リサイクル・アート家具ロビー展
90	東区・札幌国際芸術祭2014PR事業「フォレスト・ノート」
91	札幌市博物館活動センター体験学習会「地史見学会」
92	屯田アートパーク
93	麻生アートヴィレッジ
94	あいくるウィーク
95	清田区ロビーコンサート
96	第33回 札幌市立高等学校総合文化体育大会
97	没後25年記念作品展「おぼしき呂司の世界」
98	北区写真展
99	アイヌアートモニュメント設置事業
100	あつぱつふれあいプログラム「あつぱつ区民音楽祭」
101	第34回 白石区ふれあいバラコンサート&おもしろいし わくわくフェスタ

No.	事業名
102	さっぽろっこ出版体験
103	清田・新能と狂言を楽しむタベ
104	北区アートプロジェクト(エルプラまつりへの出展)
105	2014市電フェスティバル
106	第5回「みんなの!新さっぽろフォトコンテスト」作品募集
107	「アートしてる」赤いひまわりでSAPPORO(サッポロスマイル)
108	にしく・もくもくアートフェスタ2014
109	間伐材を活用した環境学習イベント(モエレからおとがうまれる)
110	札幌市児童会館「こども×アート」プロジェクト
111	清田区4高等学校文化芸術作品展
112	札幌市中央消防署「フォトモザイクアート2014」
113	カラフルブレインアートフェス2014
114	南区元気なまちづくり支援事業「ハッピーアートタウン計画」 「ハッピーアートコンサート」
115	北☆ガク アートフェスティバル
116	時計台での在来種を使った緑化

●ミュージアムネットワーク

SIAF2014のテーマや作品をさらに深く理解することにつながる北海道内の美術館や博物館を、「ミュージアムネットワーク」として公式ホームページで紹介し連携を図った(アイヌ民族博物館、夕張市石炭博物館、北海道立文学館、北海道大学総合博物館、苫小牧市美術博物館)。

ボランティア

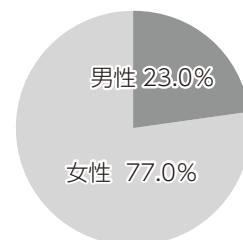
- ・会場運営(作品監視、会場案内など)、イベント・プログラム運営(運営サポート、入場整理など)、情報発信活動(かわら版発行など)を多くのボランティアが担った。
- ・ボランティアの待遇として、ボランティア保険(登録者負担なし)に加入するとともに、オリジナルスタッフTシャツ1枚とSIAF2014共通チケット1枚を進呈した。また全日活動を行う場合には昼食費相当分としてQUOカード500円分を支給した。



●構成

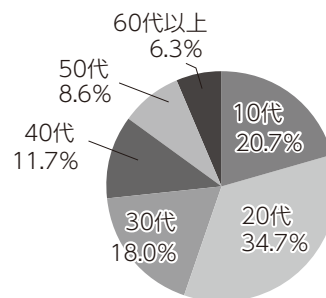
- 登録者 1,319人 ※事前ボランティア38人を含む。会期中は1,281人
- 会期中活動人数 751人(58.6%)
- 活動参加のべ人数 4,344人
- 性別

	人数	割合
男性	295人	23.0%
女性	986人	77.0%
計	1,281人	100.0%



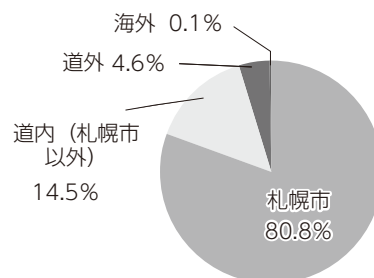
○年齢

	人数	割合
10代	256人	20.7%
20代	429人	34.7%
30代	222人	18.0%
40代	144人	11.7%
50代	106人	8.6%
60代以上	78人	6.3%
計	1,235人	100.0%



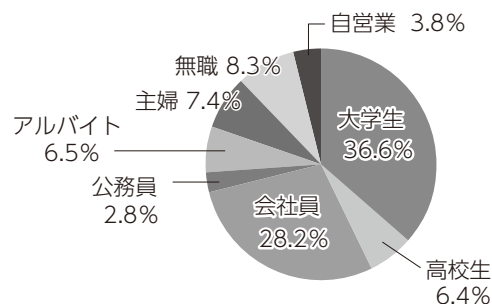
○居住地

	人数	割合
札幌市	1,011人	80.8%
道内（札幌市以外）	182人	14.5%
道外	58人	4.6%
海外	1人	0.1%
計	1,252人	100.0%



○職業

	人数	割合
大学生	449人	36.6%
高校生	78人	6.4%
会社員	346人	28.2%
公務員	34人	2.8%
アルバイト	80人	6.5%
主婦	91人	7.4%
無職	102人	8.3%
自営業	47人	3.8%
計	1,227人	100.0%



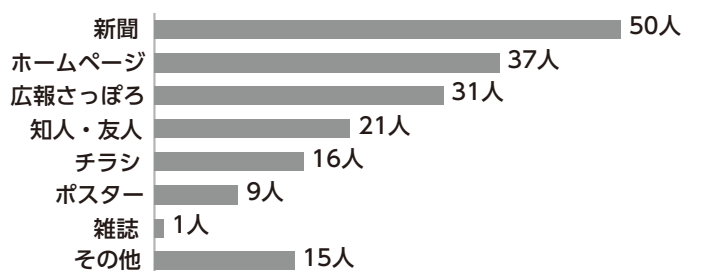
●研修、ミーティングなど

- 研修会 2014年2月～6月、計6回実施、参加者計796人
- ボランティアミーティング 6月～7月、計5回実施、参加者計54人
- ボランティアスタッフ決起大会 7月、計2回実施、参加者計279人

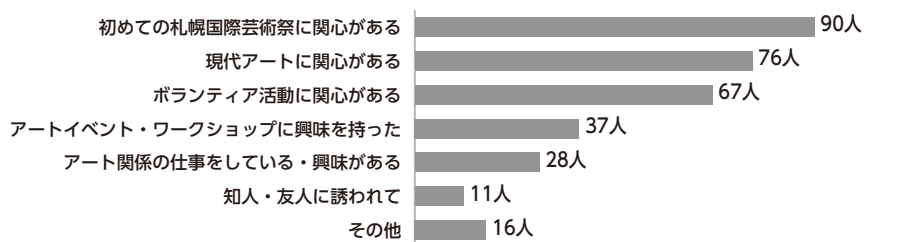
●ボランティアへのアンケート

ボランティア登録者にメールなどでアンケート調査を行った(回答者数130人)。

○ボランティア募集を何で知りましたか(複数回答可)。

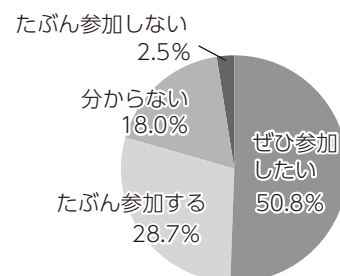


○ボランティアへの参加理由(複数回答可)。



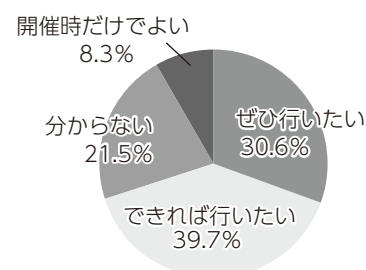
○次回もボランティアに参加したいですか。

	人数	割合
ぜひ参加したい	62人	50.8%
たぶん参加する	35人	28.7%
分からない	22人	18.0%
たぶん参加しない	3人	2.5%
参加しない	0人	0.0%
計	122人	100.0%



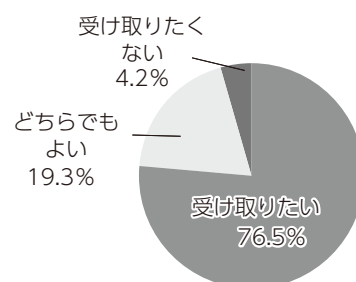
○継続的に情報交換やワークショップなどの活動をしたいですか。

	人数	割合
ぜひ行いたい	37人	30.6%
できれば行いたい	48人	39.7%
分からない	26人	21.5%
開催時だけでよい	10人	8.3%
計	121人	100.0%



○今後も芸術祭の情報を受け取りたいですか。

	人数	割合
受け取りたい	91人	76.5%
どちらでもよい	23人	19.3%
受け取りたくない	5人	4.2%
計	119人	100.0%



●自由意見抜粋

○ボランティア活動に参加してよかったこと

- ・作品やアーティストなど、現代アートと身近に接することができ、作品の理解が深まった。
- ・年代の違う人や、普段出会えないようないろいろな人と出会うことができた。
- ・来場者に感謝されるなど交流ができてよかった。
- ・清華亭を初めて知るなど、札幌の魅力を再発見できた。
- ・自分も楽しめたし、周りにSIAF2014の面白さを発信できた。
- ・日常では体験できないことをたくさん体験できた。
- ・自分もアートに取り組みたいと思った。

○ボランティア活動に参加して困ったこと

- ・外国人への対応に苦慮した。
- ・会場によって休憩室が無かったり、休憩の取り方が異なり困惑した。

広報・PR

●パブリシティ実績

新聞、雑誌、テレビ、ウェブサイトなどの各種メディアで、広く情報が発信され、1,133件の掲載・放送があった。

種別	件数	内訳		
		市内	国内	国外
新聞	479	347	127	5
雑誌、フリーペーパーなど	184	86	85	13
テレビ	135	126	7	2
ラジオ	84	73	11	0
ウェブサイトなど	251	—	196	55
計	1,133	632	426	75

※ 2012年1月1日～2014年12月31日の件数

※ 当実行委員会で、掲載・放送の確認ができたもののみを集計

●パブリシティ効果

新聞、雑誌、テレビ、ウェブサイトなどに無料で掲載・放送された、SIAF2014の関連記事を広告費換算すると、約12億円の効果があった。

※ 掲載・放送された同じ分量を広告出稿した場合の料金

※ (株)道銀地域総合研究所による推計

●メディアへの情報提供

- ・ゲストディレクターや参加アーティストなどの主要な情報が決定した際、記者発表会を開催した。
- ・札幌市長の定例記者会見で、毎回、SIAF2014の情報を提供したほか、札幌市役所市政記者クラブや他の記者クラブへの情報発信などを行った。

○記者発表会・公式レセプション

記者発表会を東京で2回、札幌で5回、公式レセプションを札幌で2回開催した。

開催日	会場	内容	メディア参加人数 (招待者参加人数)
2012年9月12日(水)	札幌市役所 記者会見室	概要、ゲストディレクターの決定	12人
2012年12月17日(月)	(公社)日本外国特派員協会(FCCJ) メディアルーム[東京]	開催テーマ、メッセージの発表	35人
2012年12月18日(火)	札幌市役所 市長会議室	開催テーマ、メッセージの発表	23人
2012年3月22日(金)	札幌全日空ホテル 孔雀の間	メディア懇談会	10人
2013年5月16日(木)	札幌パークホテル ザ・テラスルーム	公式レセプション、 ロゴマーク授賞式	20人 (199人)
2013年11月4日(月・休)	札幌コンサートホールKitara 大ホール	全体概要の発表	34人 (1,233人)
2014年3月13日(木)	六本木ヒルズアカデミーヒルズ オーディトリウム[東京]	全体概要の発表(ビジョン、 コンセプト、意義、役割、特徴)	83人
2014年3月14日(金)	札幌市役所 市長会議室	全体概要の発表 (事業、プロジェクトの説明、 参加アーティストの紹介)	35人
2014年7月18日(金)	札幌パークホテル パークプラザ	札幌国際芸術祭2014 公式レセプション	102人 (1,200人)

○記者クラブへの情報提供

- ・札幌市役所市政記者クラブを中心に、国内の記者クラブなどへ60回の情報提供を行った。
- ・会期後半には、1週間のイベントスケジュールを紹介したイベントニュースの提供を行った。
- ・主な情報提供先(札幌市役所市政記者クラブ、北海道経済記者クラブ、国土交通省記者クラブ、都道府県記者クラブ、都庁記者クラブ ほか)

○市長定例記者会見

- ・札幌市役所市政記者クラブ主催の札幌市長定例記者会見で、SIAF2014の情報を提供し、周知を図った(計13回)。
- ・開催年度は、SIAF2014の閉幕まで毎回、市長から直接SIAF2014の情報を発信することで、メディアへの掲載を増やした。

○プレスツアーの実施

- ・7月18日(金)(内覧会)、7月19日(土)(開幕日)に、アソシエイト・キュレーターとアーティストが、各会場で作品について解説するプレスツアーを開催。道内メディアをはじめ、首都圏のアート関係者など98人が参加した。
- ・会期中、(独)国際交流基金が招待した海外キュレーターと海外記者向けのプレスツアーを実施し、計24人が参加した(8月2日(土)～8月4日(月))。

○海外での情報発信

- ・(公社)日本外国特派員協会(FCCJ)、(公財)フォーリン・プレスセンター(FPCJ)の情報配信サービスを活用し、リリースの配信を行った。
- ・世界中の9万人以上の美術関係者が利用している、メールによる展覧会情報配信サービス「e-flux」を活用し、全体概要発表後の3月20日(木)と開幕後の7月22日(火)にリリース配信を行った。
- ・世界冬の都市市長会 第16回華川市長会議(1月18日(土))において、札幌市長がSIAF2014のプレゼンテーションを行ったほか、氷の国華川ヤマメ祭り会場(共に韓国・華川、1月5日(土)～27日(日))にブースを設置し、フライヤーを配布した。
- ・海外の短編映画祭(米国・ポートランド、フランス・クレルモン＝フェラン)の会場で、ブースを設置し、ポスター掲示やフライヤーなどの配布を行った。
- ・Japan Expo'14(フランス・パリ ノール ヴィルパント展示会会場、7月2日(水)～6日(日))においてパネルを設置し、SIAF2014を紹介した。
- ・タイ、シンガポール、台湾などの都市のほか、ユネスコ創造都市ネットワークメンバーのフランス・アンギャン＝レ＝バン、札幌の姉妹都市の米国・ポートランドに、インフォメーションカードを配布するなど、PRを行った。

●広報用印刷物

- ・SIAF2014のメインビジュアルを用いたポスターやフライヤー、パンフレットは、SIAF2014公式デザイナー長嶋りかこがデザイン監修を行った。
- ・制作した印刷物は、国内の美術館やホール、ギャラリー、大学、公共機関などへ配布したほか、会期中はSIAF2014各会場などに掲示、配布を行った。
- ・その他、各プログラムごとのフライヤーを制作し、各所へ配布した。

種別	数量	詳細		
ポスター(第1弾)	4,610枚	B1判	B2判	B3判
		500枚	500枚	3,610枚
ポスター(第2弾)	6,500枚	1,000枚	2,000枚	3,500枚
フライヤー	36,000部	A4判両面 4色カラー 日本語30,000部、英語5,000部、韓国語1,000部		
パンフレット	242,000部	A4判観音開き8ページ 4色カラー		
マップ	100,000部	A5判4つ折り 4色カラー 日本語80,000部、英語20,000部		

主な配布先

SIAF2014各会場、公共施設(まちづくりセンター、図書館、スポーツ施設、コミュニティ施設など)、美術館、ギャラリー、美術関係者、ホテル、観光案内所、旅行代理店、小中学校、大学、パートナーシップ企業、各種PRイベント ほか



ポスター



パンフレット



マップ

●PR映像

- ・SIAF2014のテーマなどを紹介するPR映像を制作し、公式ホームページで公開した。
- ・ゲストディレクター坂本龍一による札幌市民向けのメッセージ映像を制作し、公式ホームページで公開した。
- ・SIAF2014開幕後、各会場の様子を紹介するPR映像を制作し、札幌市役所公式ホームページで公開した。
- ・札幌市内中心部にある街頭大型ビジョンで、15秒CMを放映した。
- ・オフィシャルパートナーの(株)エクソルが制作したSIAF2014 15秒CMを、テレビで放送した。

種別	内容
ウェブサイト	<SIAF2014公式ホームページ> ・テーマ&メッセージ ビデオ ・市民向けメッセージ ビデオ <札幌市役所公式ホームページ> ・札幌国際芸術祭2014プロローグ
街頭ビジョン・テレビ	15秒CM
施設などのモニター	スライド映像(ゲストディレクター・各会場)

●インターネットを用いた広報

公式ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどで、即時性の高い情報発信を行った。

種別	状況	その他
公式ホームページ	アクセス数 (ユニークユーザー数) 677,764件 (9/30現在)	2013年4月公開、2014年5月、9月リニューアル。ニュース掲載件数294件
公式フェイスブック	いいね!数 5,463件 (9/30現在)	2013年8月開始。投稿数551件
公式ツイッター	フォロワー数 3,223人 (9/30現在)	2013年8月開始。ツイート数2,725件
ようこそさっぽろ (ウェブサイト)	SIAF関連の ページビュー数 72,789件 (9/30現在)	札幌市公式観光ウェブサイト。2013年10月からSIAF2014のコンテンツを掲載(札幌市観光企画課運営)。
札幌いんぷお (アプリ)	SIAF インデックス ページへのアクセス数 19,222件 (9/28現在)	札幌市公式観光アプリ。参加アーティストアンティエ・グライエ＝リパッティ (AGF) の作品《サウンド・ポエム・サッポロ》(アクセス数3,481回)などのSIAF2014のコンテンツを2014年7月から掲載(札幌市観光企画課運営)。

○公式ホームページ

- ・123の国と地域からアクセスがあり、ホームページを訪れた人の数は677,764件(9/30現在)であった(同じ人が複数回、ページを閲覧しても、1件と数える)。
- ・1日のアクセスが一番多かったのは、7月10日(金)の15,105件であった。
- ・会期中、平均すると1日当たり4,220件のアクセスがあった。



○公式フェイスブック

- ・SIAF2014のアカウントを取得し、お知らせ情報やイベントの様子などを随時、発信した。
- ・投稿は551件であり、公式フェイスブックへの「いいね!」数は5,463件(9/30現在)であった。



○公式ツイッター

- ・SIAF2014のアカウントを取得し、イベントの周知や開催中の様子、緊急情報などをリアルタイムで発信した。
- ・ツイート数は2,725件であり、公式ツイッター「@SIAF2014info」のフォロワー数は、3,223件(9/30現在)であった。

基本情報	
アカウント名	@SIAF2014info
フォロワー数	3,223 件
ツイート数	2,725 件

○札幌市公式観光アプリ「札幌いんふお」

- ・札幌市の公式観光アプリ「札幌いんふお」に、SIAF2014のコンテンツを掲載。内容や会場などのSIAF2014の概要を紹介した。
- ・参加アーティスト アンティエ・グライエ=リパッティ(AGF)の音、映像の作品《サウンド・ポエム・サッポロ》を掲載し、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)会場の展示と連動して楽しめる仕組みを取り入れた。
- ・SIAF2014のインデックスページへのアクセス数 19,222件(9/28現在)。



○メールマガジン

SIAF2014のトピックやイベント情報などを、必要に応じて、マスコミ関係者約200人に配信した。

●札幌市と連携した広報

○広報さっぽろへの掲載

- ・札幌市の広報誌「広報さっぽろ」(市内全世帯配布、発行部数100万部)に、2013年からSIAF2014の情報を掲載し、周知を図った。
- ・特に、開幕直前の6月から、閉幕までの4カ月連続で、巻頭でSIAF2014の特集を行い、詳細な内容を継続的に掲載することで、SIAF2014の認知度や集客の向上を図った。

号数	企画	ページ数	タイトル
2013年 1月号	特集	2	札幌国際芸術祭2014開幕に向けて始動!
2013年 6月号	今月のニュース	1	ゲストディレクター坂本龍一氏からのメッセージを公開
2013年10月号	今月のニュース	1	来年開催する札幌国際芸術祭のプレイベントを実施
2014年 1月号	特集	4	札幌国際芸術祭が目指すもの(4色カラー)
2014年 2月号	企画ページ	1	カウントダウン 札幌国際芸術祭(飯田 志保子)
2014年 3月号	企画ページ	1	カウントダウン 札幌国際芸術祭(四方 幸子)
2014年 4月号	企画ページ	1	カウントダウン 札幌国際芸術祭(岡部 昌生)
2014年 5月号	企画ページ	1	カウントダウン 札幌国際芸術祭(露口 啓二)
2014年 6月号	特集	2	この夏、街がアート一色に
2014年 7月号	特集	6	心を揺さぶるアートに出会う72日間(4色カラー)
2014年 8月号	特集	2	親子で楽しむアート巡り
2014年 9月号	特集	2	絶対に見ておきたいアート作品の数々



広報さっぽろ2014年7月号特集



広報さっぽろ2014年9月号特集

○広報番組(テレビ)

札幌市の広報番組(テレビ)で、SIAF2014の概要や各会場の様子などを紹介した。

番組名	放送局	放送回数
札幌ふるさと再発見	STV	2回
ウォッチングさっぽろ	TVh	2回
創造都市さっぽろ	UHB	8回
パブリシティ 粋を使っての広報	HBC、HTB、STV、UHB、TVh	12回

○広報番組(ラジオ)

札幌市の広報番組(ラジオ)で、SIAF2014の概要を紹介したほか、各美術館やモエレ沼公園などの現地から中継で、SIAF2014を紹介し、PRを行った。

番組名	放送局	放送回数
ポップアップさっぽろ	AIR-G'	3回
スマイルさっぽろ	HBC	4回
サッポロ・シティ・ナビ	NORTH WAVE	2回
さっぽろ散歩	STV	2回
パブリシティ枠を使っの広報	AIR-G'、HBC、NORTH WAVE、STV	8回

○その他

- ・札幌市役所公式ホームページのトップページに、SIAF2014のバナーを掲載。
- ・札幌市役所公式ホームページで、SIAF2014の概要をまとめたPR映像「札幌国際芸術祭2014プロローグ」を公開。
- ・札幌市教育委員会発行広報誌「学力ってなんだろう」にSIAF2014情報を掲載し、市内の小中学生、高校生に配布。
- ・札幌市広報課発行のSIAF2014応援チラシを、市内の小中学生、高校生に配布。

●周辺市町村などとの連携

- ・札幌広域圏組合加盟の江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村の石狩管内7市町村の広報誌にSIAF2014の情報を掲載。
- ・札幌広域圏組合の小中学生が参加するクラシックコンサートで配布した資料に、SIAF2014の情報を掲載し、入場チケットをプレゼントした。
- ・北海道内の観光案内所で、パンフレットを配布。

●交通機関との連携

- ・地下鉄駅構内・車内、JR駅構内・車内、路面電車車内、バス車内にポスターを掲出した。
- ・特に、開幕直前には、各会場の地下鉄最寄駅に大型(B1判)ポスターを一斉に掲載し、SIAF2014の周知を図った。

種別	内容
第1弾ポスター (計2,345枚)	地下鉄駅構内(200枚)、地下鉄中づり(440枚)、地下鉄額面(440枚)、市営路面電車中づり(70枚)、JR普通電車中づり[札幌管内](300枚)、JR普通気動車中づり[札幌管内以外](255枚)、函館バス額面(270枚)、旭川電気軌道バス額面(160枚)、釧路バス額面(110枚)、十勝バス額面(100枚)
第2弾ポスター (計1,450枚)	会場最寄り地下鉄駅構内(150枚)、JR駅構内[全道駅構内](200枚)、JR普通電車中づり[札幌近郊](450枚)、中央バス額面[札幌近郊](450枚)、じょうてつバス額面(200枚)

●その他企業との連携

- ・丸井今井札幌本店 大通館地下2階に特設コーナーを設置し、SIAF2014の紹介やグッズの販売を行った。
- ・紀伊国屋書店 札幌本店で、SIAF2014のパネルを店内壁面に掲示しPRした。
- ・イオン北海道の各店で、店舗内にパンフレットを設置した。
- ・雑誌、テレビ、ラジオなどとのタイアップで、SIAF2014のチケットプレゼント企画を行った。

●広告

SIAF2014のPRなどを行うため、各種メディアに広告を掲載した。

種別	出稿数	掲載・放送先
新聞広告	31	道内5紙
雑誌	4	全国誌
テレビCM	122	道内5局
ラジオCM	196	道内4局
ウェブサイト	9	国内・海外
計	362	



新聞に掲載した展覧会の広告

●旅行業界関係者向け説明会

- ・2013年11月22日(金)にSIAF2014旅行業界関係者向け事業説明会を開催し、13社が参加。SIAF2014の概要説明を行うなど、旅行商品催行の動きかけを行った。
- ・(株)ジェイティービー(JTB)、(株)エイチ・アイ・エス(HIS)、(株)日本旅行などの旅行代理店のウェブサイトなどでSIAF2014の概要が紹介された。
- ・JTB、(株)農協観光などの窓口で、SIAF2014のチケットの販売を行った。

●街頭PR・誘導サイン

- ・SIAF2014会場への誘導を促すためのサインを、地下鉄駅構内や会場敷地内などに設置した。
- ・札幌市内で最も人通りが多い札幌駅・大通エリアを中心に横断幕、街灯フラッグなどのサインを展開し、SIAF2014の周知を図った。

種 別	内 容
誘導サイン	地下鉄駅、大通公園、モエレ沼公園、札幌市資料館、札幌芸術の森
街灯フラッグ	札幌駅前通、南1条通(一番街)
懸垂幕・横断幕	丸井今井札幌本店大通館(大通)、北海道銀行ビル(大通)、NTT2丁目ビル(大通)、伊藤・加藤ビル(札幌駅前)、札幌市役所本庁舎、区役所(全10区)
バナー	新千歳空港 到着ロビー、ポールタウン、オーロラタウン、TSUTAYA札幌大通、4丁目プラザ



案内・誘導サイン[地下鉄大通駅構内]



案内・誘導サイン[札幌芸術の森会場]



街灯フラッグ[札幌駅前通]



柱巻き [札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)]



懸垂幕 [NTT2丁目ビル]



横断幕 [札幌市役所本庁舎前]



横断幕 [中央区役所]



屋内バナー [新千歳空港 到着ロビー]



屋内バナー [さっぽろ地下街 ポールタウン]



工事現場仮囲い [大通西4丁目]



屋外広告 [TSUTAYA 札幌大通]



屋外広告 [4丁目プラザ]

ガイドブック・ドキュメントブック

●ガイドブック

SIAF2014の情報を分かりやすくまとめ、参加アーティストのインタビューや北海道・札幌ゆかりのアーティスト紹介などを掲載した「SAPPORO INTERNATIONAL ART FESTIVAL OFFICIAL GUIDE BOOK (Switch別冊)」を発行した。

発行日	7月11日(金)
判型	B5変形判・144ページ
発行部数	10,000部
販売価格	1,080円(税込)
販売場所	・SIAF2014インフォメーションセンター 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)／札幌市資料館 ・北海道立近代美術館 チケット売場 ・札幌芸術の森美術館 ミュージアムショップ ポレール ・モエリ沼公園 ガラスのピラミッド[HIDAMARI]ショップ ・丸井今井札幌本店 大通館地下2階 案内所側入口特設コーナー ・全国主要書店 など

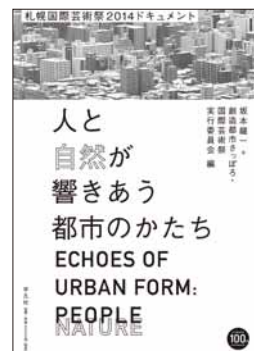


内容	ゲストディレクター坂本龍一をはじめ、参加アーティストのインタビューを掲載したほか、イサム・ノグチ、伊福部昭、掛川源一郎、中谷宇吉郎といった北海道・札幌ゆかりのアーティストを紹介。 SIAF2014プログラムおよび参加アーティスト紹介、D & DEPARTMENTの編集による札幌観光ガイドなど、アートが彩る札幌の「都市と自然」の魅力を詰め込んだガイドブック。
制作・発行	(株)スイッチ・パブリッシング

●ドキュメントブック

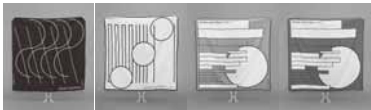
SIAF2014の全容をまとめたドキュメントブック「人と自然が響きあう都市のかたち 札幌国際芸術祭 2014 ドキュメント」を発行した。

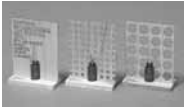
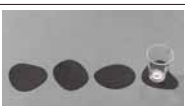
発行日	12月19日(金)
判型	A5判・224ページ
発行部数	3,000部
販売価格	2,484円(税込)
販売場所	全国主要書店
内容	全参加アーティストの作品画像のほか、アーティストが自らの作品について深く語った言葉や、参加型プロジェクトで起こったストーリーを構成し掲載。関係者コラム、キュレータークロストーク、資料編には開催概要、作品情報、イベントスケジュールなど、SIAF2014の全容を集録したドキュメントブック。
制作・発行	(株)平凡社



グッズ

- ・開催テーマ「都市と自然」をコンセプトに、公式デザイナー長嶋りかこがデザイン監修を手掛けるグッズを展開した。オリジナルグッズのほか、ゲストディレクター坂本龍一が主宰する森林保全団体(一社)モア・トゥリーズとのコラボレーショングッズや、オフィシャルグランドパートナーであるルイ・ヴィトンとのコラボレーションによる特別グッズを販売した。
- ・長嶋りかこが手掛けるSIAF2014ツール・グッズのグラフィックデザインは、(公財)日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)が主催する「JAGDA賞2015」のジェネラルグラフィック部門を受賞した。
- ・会期中は、参加アーティストに関連する書籍なども販売した。

名称	種類	販売価格(税込)	グッズイメージ
SIAF2014 × LOUIS VUITTON × more trees スツール	ブラック ホワイト グレー グリーン	各 12,000円	
SIAF2014 × LOUIS VUITTON × more trees 鉢と種セット	大	4,800円	
	小	2,900円	
SIAF2014オリジナル Tシャツ	ヘザーグレー ブラック	各 3,500円	
SIAF2014オリジナル エコバッグ	—	1,500円	

SIAF2014オリジナル バッジ	ホワイト グレー	各 200円	
SIAF2014 × more trees ルームフレグランス (北海道モミの木の香り)	全3種	各 3,800円	
SIAF2014 × more trees 木のボールペン	—	900円	
SIAF2014 × more trees ポストカード	5枚セット	1,500円	
SIAF2014 × more trees ミニノート	全3種	各 1,600円	
SIAF2014 × more trees 扇子	全3種	各 1,500円	
SIAF2014 × more trees レザーコースター (北海道エゾシカ革製)	全4種	各 700円	
SIAF2014オリジナル whirling noise	—	1,400円	
SIAF2014オリジナル さくらシート	—	700円	
アンゼラム・キーファー 「あなたの都市の上に草は生える」 DVD/Blu-ray	—	3,000円	

販売場所	販売期間
インフォメーションセンター 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)／札幌市資料館	7/19 ～ 9/28
北海道立近代美術館 ミュージアムショップ	7/19 ～ 9/28
札幌芸術の森美術館 ミュージアムショップ ポレール	7/19 ～ 9/28
モエレ沼公園 ガラスのピラミッド [HIDAMARI] ショップ	7/19 ～ 9/28
丸井今井札幌本店 大通館地下2階 案内所側入口特設コーナー	7/19 ～ 8/13
函館 蔦屋書店 (more trees POPUP)	8/1 ～ 9/28
代官山 蔦屋書店 [東京] (more trees POPUP)	8/26 ～ 9/28
インフォメーションセンター in 東京 [渋谷ヒカリエ]	8/27 ～ 9/7
ブルックリンパーラー札幌	9/26 ～ 10/31
ワタリウム美術館 [東京] ミュージアムショップ オン・サンデーズ (more trees POPUP) ※一部商品のみ取扱	10/1 ～
commons smart ※一部商品のみネット通販で取扱	10/3 ～

インフォメーションセンター

会期中、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)と札幌市資料館の2カ所にインフォメーションセンターを設置し、SIAF2014の各プログラムやイベント情報、会場へのアクセス、連携事業などの情報発信のほか、共通チケットやグッズの販売を行った。

○開設時間：10:00～19:00(会期中無休)



インフォメーションセンター[札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)]



インフォメーションセンター[札幌市資料館]

シャトルバス

●SIAF2014 シャトルバス

会期中、北海道立近代美術館から札幌芸術の森美術館までをつなぐシャトルバスを運行した。

- 運行期間 7月19日(土)～9月28日(日)の内60日間
※北海道立近代美術館の休館日と8月31日(日)(北海道マラソン開催日)、9月11日(木)(札幌芸術の森美術館の臨時休館日)は運休
- 運行時間 北海道立近代美術館→札幌芸術の森美術館 10:00～15:00の間、毎時00分発
札幌芸術の森美術館→北海道立近代美術館 11:00～16:00の間、毎時50分発
- 停留所 北海道立近代美術館～札幌市資料館～大通西5丁目～芸術の森入口(札幌芸術の森美術館最寄り)～芸術の森センター
- 乗車料金 片道 大人190円～500円、小人100円～250円
※乗車料金は区間によって異なる。9月13日(土)からは無料。

○乗車実績

- ・総乗車人数 7,300人
- ・平均乗車人数 121.7人/日(9.4人/便)

●モエレ・さとらんど観光シャトルバス

会期中、札幌市内で開催されるイベントとの連携を図るため、札幌市観光企画課でモエレ沼公園とサッポロさとらんど、夏まつりメイン会場の大通公園をつなぐ観光シャトルバスを運行した。

○運行期間 7月18日(金)～9月28日(日)の内71日間

※8月31日(日)(北海道マラソン開催日)と9月20日(土)(モエレ沼芸術花火2014開催日)は運休

○運行時間 大通公園→モエレ沼公園 10:00、12:00、14:00、16:00、18:00

モエレ沼公園→大通公園 11:00、13:00、15:00、17:00、19:20

○停留所 大通西5丁目～さっぽろさとらんど～モエレ沼公園

○乗車料金 無料

○乗車実績

- ・総乗車人数 13,033人
- ・平均乗車人数 183.6人/日(18.4人/便)

来場者数

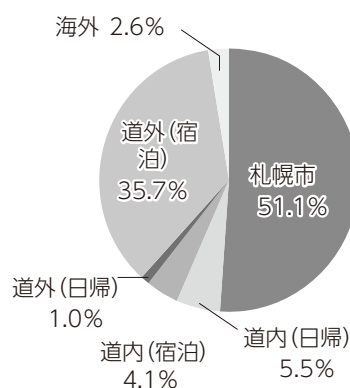
●来場者数

初開催30万人の目標に対し、478,252人(目標比:159.4%)となった。

●来場者構成

各展示会場で実施した来場者アンケートの結果などから、札幌市民は51.1%、道外からは36.7%、海外からは2.6%と推計した。

	割合
札幌市	51.1%
道内(日帰)	5.5%
道内(宿泊)	4.1%
道外(日帰)	1.0%
道外(宿泊)	35.7%
海外	2.6%
計	100.0%



●会場別

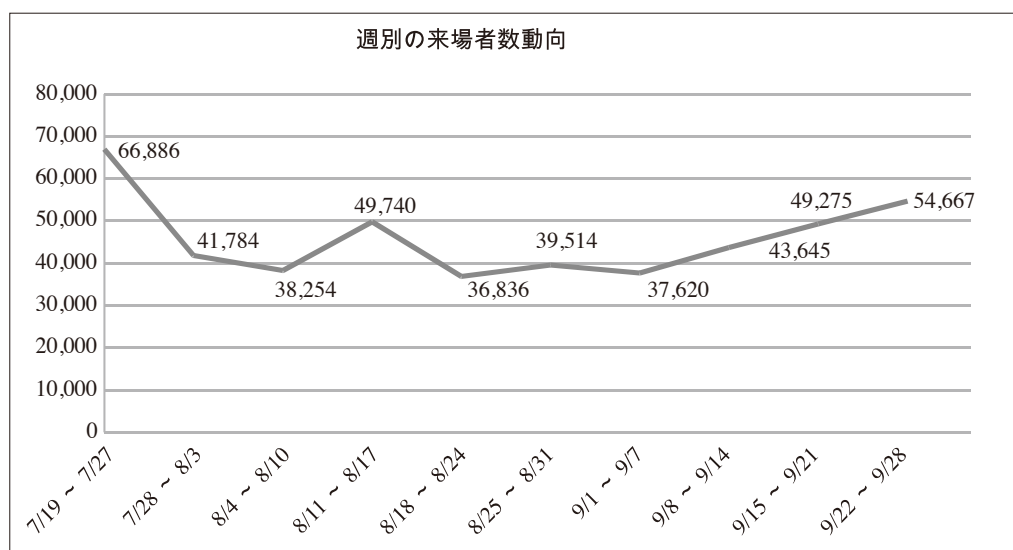
会場別では、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)への来場者が116,278人(24.3%)と最も多く、札幌市資料館が80,955人(16.9%)、モエレ沼公園が延べ71,374人(14.9%)と続いている。

会場	プログラム	来場者数		割合
北海道立近代美術館	企画展示「都市と自然」	23,000人		4.8%
札幌芸術の森美術館		43,858人		9.2%
札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)	チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」	116,278人		24.3%
	参加型プロジェクト「アート×ライフ」 コミュニケーション COMMUNE《ブラインド・ブック・マーケット》 エキソニモ《DesktopBAM》			
	田島 一成「SAPPORO PROJECT」			
北海道庁赤れんが庁舎	赤れんが特別展示「伊福部 昭・掛川 源一郎」展	58,506人		12.2%
札幌大通地下ギャラリー 500m美術館	500m美術館企画展示「北海道のアーティストが表現する 「都市と自然」ー「時の座標軸」ー」	43,077人		9.0%
札幌市資料館	参加型プロジェクト「アート×ライフ」 深澤 孝史《とくいの銀行 札幌》／《サッポロ・エホン・カイギ》	80,955人		16.9%
	SIAF2014 アクティビティ拠点プロジェクト			
	YCAM InterLab+五十嵐 淳「コロガル公園 in ネイチャー」			
モエレ沼公園	坂本 龍一 + YCAM InterLab 「フォレスト・シンフォニー in モエレ沼」	70,625人	71,374人	14.9%
	チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」 坂本 龍一 + 真鍋 大度《センシング・ストリームズー 不可視、不可聴》			
	オープニングプログラム 巡回するノイズ	450人		
	オープニングプログラム ^{ポエム サンフォニック} Poème Symphonique	299人		
札幌市教育文化会館	^{クロマ} 高谷 史郎「CHROMA」	1,359人		0.3%
さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール	^{シディラルビ シェルカウイ} ^{ダミアン ジャレ} ^{バベル} ^{ワーズ} Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet「Babel (words)」	1,556人		0.3%
札幌市北3条広場	プロジェクトFUKUSHIMA! 「フェスティバルFUKUSHIMA! 北3条広場で盆踊り」	4,000人	5,096人	1.1%
	オープニングプログラム カムイノミ	1,096人		
清華亭	チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」 毛利 悠子《サーカスの地中》	4,108人		0.8%
さっぽろテレビ塔	参加型プロジェクト「アート×ライフ」 ^{アイバス} IDPW《インターネットヤミ市4 in 札幌》	748人		0.2%
暮らしかた冒険家 札幌の家	暮らしかた冒険家【hey, sapporo】	595人		0.1%
「携帯電話を石器と交換 する」会場	島袋 道浩《携帯電話を石器と交換する》	2,449人		0.5%
札幌市役所 1階ロビー特設会場	札幌国際芸術祭 2014 ファイナルトーク	156人		0.1%
その他	関連プログラムなど	25,137人		5.3%
合計		478,252人		100.0%

●開催日別

- ・開催日別における来場者数(パフォーマンス／ライブなどのプログラムを除く)は会期中72日間で458,221人であり、1日当たりの平均来場者数は6,364人となった。
- ・最多来場日は、9月14日(日)の11,983人となった。

月日	曜日	天気	来場者数(人)	月日	曜日	天気	来場者数(人)
7月19日	土	晴	10,579				
7月20日	日	晴	10,522				
7月21日	月・祝	晴	11,271	8月25日	月	曇	4,263
7月22日	火	曇	5,620	8月26日	火	晴	3,910
7月23日	水	雨	4,749	8月27日	水	晴	4,447
7月24日	木	晴	4,886	8月28日	木	晴	4,337
7月25日	金	晴	4,898	8月29日	金	晴	5,617
7月26日	土	雨	7,577	8月30日	土	晴	8,858
7月27日	日	雨	6,784	8月31日	日	晴	8,082
小計			66,886	小計			39,514
7月28日	月	晴	5,926	9月1日	月	晴	4,610
7月29日	火	晴	5,337	9月2日	火	晴	3,950
7月30日	水	晴	5,495	9月3日	水	晴	5,802
7月31日	木	晴	5,036	9月4日	木	雨	2,811
8月1日	金	晴	5,360	9月5日	金	晴/曇	5,081
8月2日	土	晴	7,054	9月6日	土	晴	7,608
8月3日	日	晴	7,576	9月7日	日	晴	7,758
小計			41,784	小計			37,620
8月4日	月	晴	4,688	9月8日	月	晴	5,031
8月5日	火	雨	3,467	9月9日	火	晴/雨	5,176
8月6日	水	雨	5,563	9月10日	水	晴	4,593
8月7日	木	曇	5,171	9月11日	木	晴/曇	3,000
8月8日	金	雨	4,786	9月12日	金	曇	3,822
8月9日	土	晴	6,885	9月13日	土	晴	10,040
8月10日	日	雨	7,694	9月14日	日	晴	11,983
小計			38,254	小計			43,645
8月11日	月	晴/雨	5,145	9月15日	月・祝	晴	9,785
8月12日	火	晴	6,539	9月16日	火	曇	4,771
8月13日	水	晴	7,466	9月17日	水	晴/雨	5,507
8月14日	木	晴	8,372	9月18日	木	晴/雨	4,331
8月15日	金	晴	6,671	9月19日	金	曇/雨	4,520
8月16日	土	晴	7,460	9月20日	土	曇/雨	10,046
8月17日	日	晴	8,087	9月21日	日	晴	10,315
小計			49,740	小計			49,275
8月18日	月	晴	5,557	9月22日	月	晴	6,005
8月19日	火	雨	3,864	9月23日	火・祝	晴	10,677
8月20日	水	曇	4,081	9月24日	水	曇	5,215
8月21日	木	曇	4,851	9月25日	木	曇	6,149
8月22日	金	雨	4,585	9月26日	金	晴	6,848
8月23日	土	曇/晴	6,867	9月27日	土	晴	8,763
8月24日	日	曇/晴	7,031	9月28日	日	晴	11,010
小計			36,836	小計			54,667



※ 第1週は、7月19日(土)～7月27日(日)の9日間の合計

経済波及効果

SIAF2014の開催により、約59億円の経済波及効果があったと推計した。

市内支出額 ①	1次波及効果 ②	2次波及効果 ③	波及効果合計 ①+②+③
43億2,800万円	8億9,600万円	6億8,000万円	59億300万円

① **市内支出額**：来場者が札幌市内で飲食、買い物、移動、宿泊をした際に支出した額

② **1次波及効果**：市内支出額による需要発生が、その他の産業にもたらす生産誘発額

③ **2次波及効果**：需要の発生により雇用者の所得が生まれるが、その雇用者が消費したことによる生産誘発額

※「平成17年札幌市産業連関表」を用いて算出した。

環境負荷低減

●カーボンオフセットの取り組み

- ・ SIAF2014では2月12日(木)に環境省によるカーボン・オフセット認証ラベルを取得。開催によって排出されるCO₂を抑制するとともに、会場となる北海道立近代美術館と札幌芸術の森美術館における会期中のエネルギー使用や、運営又は主催者の移動にかかるCO₂排出量全てを「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」(排出権)を用いてオフセット(相殺)した。
- ・ チケット販売代金の一部をクレジット購入に充てる取り組みも実施した。



CO2-0109

jcs.go.jp

創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

認証有効期間：平成26年3月1日～平成27年2月28日

事業費の収支状況

● 2012年度事業費内訳(決算)

○収入の部

(単位:千円)

項 目	金 額
公的負担金収入(札幌市負担金)	26,300
受取利息収入	2
計	26,302

○支出の部

(単位:千円)

項 目	金 額
開催事業費	12,149
広報プロモーション費	7,679
事務局運営費	1,791
翌年度繰越金	4,683
計	26,302

● 2013年度事業費内訳(決算)

○収入の部

(単位:千円)

項 目	金 額
公的負担金収入	83,000
札幌市負担金	54,000
国等助成金	29,000
プレフェスティバルイベント チケット収入	8,323
繰越金等 前年度繰越金、受取利息収入	4,692
計	96,015

○支出の部

(単位:千円)

項 目	金 額
開催事業費	62,766
広報プロモーション費	23,228
事務局運営費	5,423
翌年度繰越金	4,598
計	96,015

● 2014年度事業費内訳(決算見込) ※12月31日(水)現在

○収入の部

(単位:千円)

項 目	金 額
公的負担金収入	430,054
札幌市負担金	202,494
国等助成金	227,560
協賛金収入	35,795
チケット収入	87,726
エキシビション収入	51,897
パフォーマンス/ライブ収入	23,679
グッズ等収入	12,150
繰越金等 前年度繰越金、受取利息収入	4,629
計	558,204

○支出の部

(単位:千円)

項 目	金 額
開催事業費	443,084
作品制作費	299,973
エキシビション制作費	173,082
パフォーマンス/ライブ制作費	78,349
プロジェクト制作費	48,542
会場費	85,428
会場費	54,957
サイン等会場造作費	30,471
スタッフ人件費	57,683
スタッフ人件費	52,682
ボランティア関係費	5,001
広報プロモーション費	62,797
事務局運営費	52,323
事務局諸経費	31,696
活動拠点整備費および予備費	20,627
計	558,204

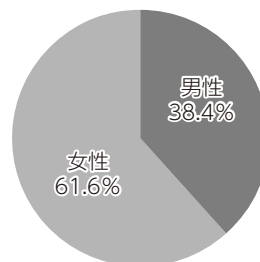
アンケート

来場者の構成、評価、意見などを把握するため、北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館、札幌大通地下ギャラリー 500m美術館、モエレ沼公園、北海道庁赤れんが庁舎、札幌市資料館、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)、清華亭の8会場で来場者へのアンケート調査を行った。(回答者数 2,838人)

●構成

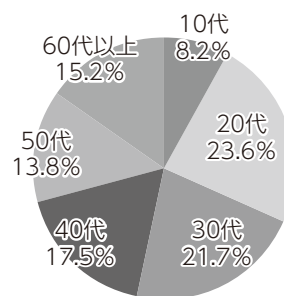
○性別

	人数	割合
男性	1,084人	38.4%
女性	1,738人	61.6%
計	2,822人	100.0%



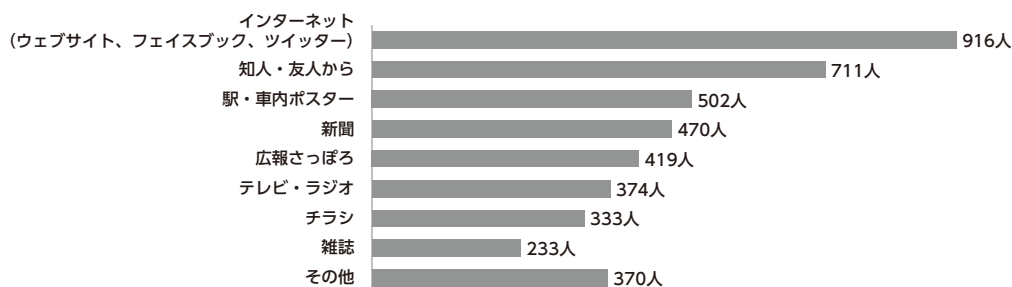
○年齢

	人数	割合
10代	233人	8.2%
20代	668人	23.6%
30代	613人	21.7%
40代	494人	17.5%
50代	390人	13.8%
60代以上	431人	15.2%
計	2,829人	100.0%

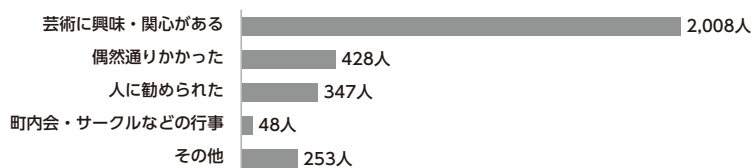


●来場のきっかけについて

○どのようにしてSIAF2014が開催されることを知りましたか(複数回答可)。



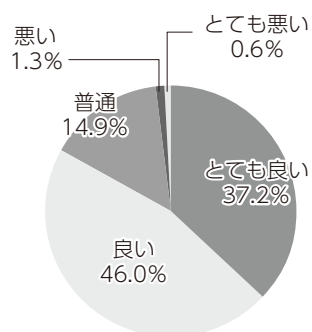
○SIAF2014をご覧になった理由を教えてください(複数回答可)。



●会場などの評価

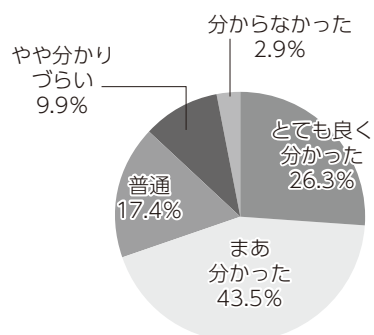
○展示されている作品の内容はいかがでしたか。

	人数	割合
とても良い	1,040人	37.2%
良い	1,287人	46.0%
普通	417人	14.9%
悪い	37人	1.3%
とても悪い	16人	0.6%
計	2,797人	100.0%



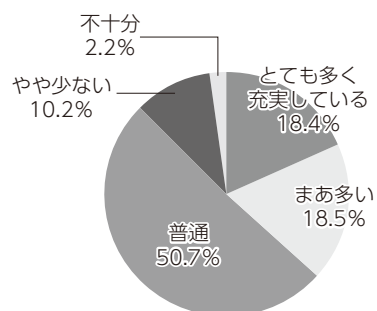
○展示作品に対する解説文の内容はいかがでしたか。

	人数	割合
とても良く分かった	732人	26.3%
まあ分かった	1,209人	43.5%
普通	484人	17.4%
やや分かりづらい	274人	9.9%
分からなかった	80人	2.9%
計	2,779人	100.0%



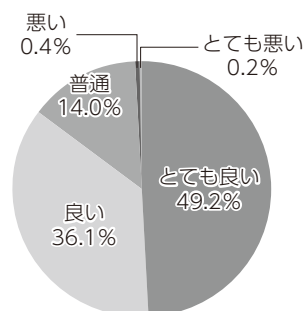
○展示作品に対する解説文の量はいかがでしたか。

	人数	割合
とても多く充実している	508人	18.4%
まあ多い	510人	18.5%
普通	1,397人	50.7%
やや少ない	282人	10.2%
不十分	61人	2.2%
計	2,758人	100.0%



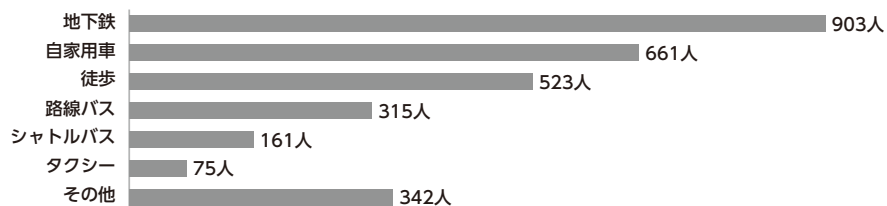
○スタッフの対応はいかがでしたか。

	人数	割合
とても良い	1,258人	49.2%
良い	924人	36.1%
普通	358人	14.0%
悪い	11人	0.4%
とても悪い	6人	0.2%
計	2,557人	100.0%

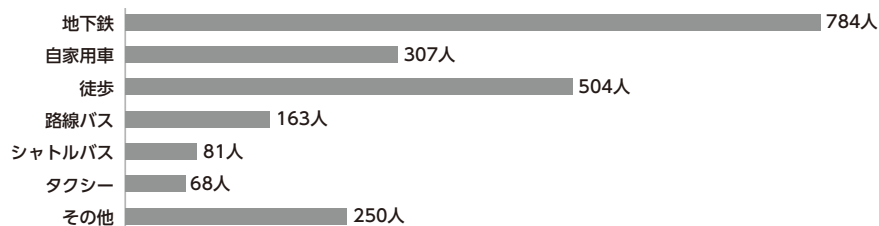


- 本日は、どのような交通手段を使ってお越しになりましたか。
札幌市内の移動に伴う交通手段をお答えください(複数回答可)。

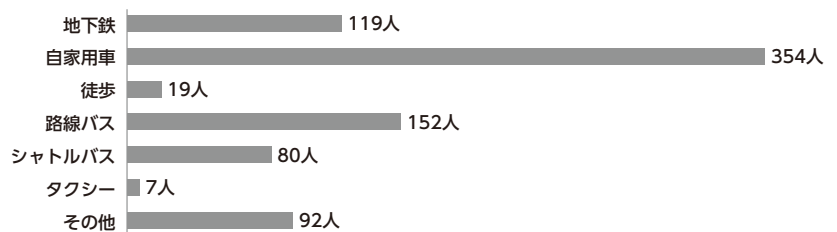
・会場全体



・中心部(北海道立近代美術館／札幌駅前地下歩行空間(チ・カ・ホ)ほか)

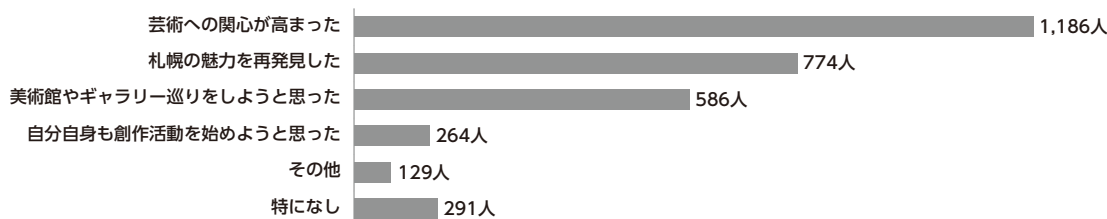


・郊外(モエリ沼公園、札幌芸術の森美術館)



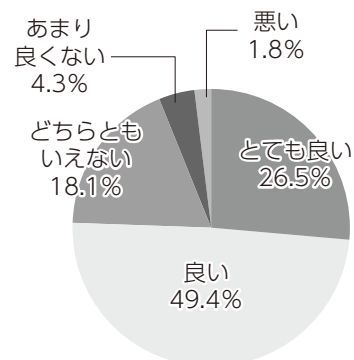
●SIAF2014全般について

- SIAF2014に参加して、どのような効果がありましたか(複数回答可)。



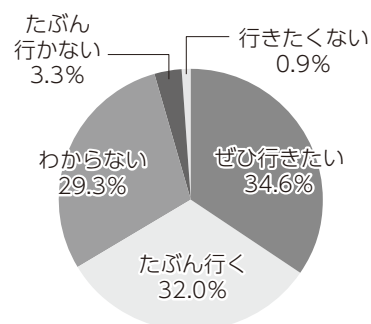
- SIAF2014の総合評価はいかがですか。

	人数	割合
とても良い	666人	26.5%
良い	1,239人	49.4%
どちらともいえない	454人	18.1%
あまり良くない	107人	4.3%
悪い	44人	1.8%
計	2,510人	100.0%



○次回も見に行きたいと思いますか。

	人数	割合
ぜひ行きたい	875人	34.6%
たぶん行く	809人	32.0%
わからない	742人	29.3%
たぶん行かない	83人	3.3%
行きたくない	22人	0.9%
計	2,531人	100.0%



●自由意見抜粋

○作品について

- ・霧の彫刻やコロガル公園 in ネイチャーなど、五感で楽しめる作品が多く良かった。
- ・作品が多すぎず、じっくり見ることができた。ゆとりのある空間が良かった。
- ・北海道に関連の深いアーティスト・作品が選定されており、札幌、北海道らしさが表れていた。
- ・既存の作品ではなく、今回の芸術祭のために作られた作品が見たい。
- ・芸術について詳しくない一般の人には分かりづらく、難しい内容だった。
- ・同じものを長期間展示していると飽きてしまう。

○解説について

- ・鑑賞者自らが作品について考える余地を残した、良い解説であった。
- ・ジュニアガイドは、子どもだけでなく大人にも分かりやすく良かった。
- ・芸術について詳しくない人でも理解できるようにしてほしい。

○周知について

- ・芸術祭の魅力を市外、道外に向けてもっとPRしてほしい。
- ・市民が興味を持てるような、分かりやすい告知を行ってほしい。

○会場、アクセスなどについて

- ・芸術祭を鑑賞することで、札幌のまちをいろいろ見ることができて良かった。
- ・会場が多いので、1泊2日程度で回れる行程を考えてほしい。
- ・無料シャトルバスが便利だった。
- ・中心部以外の会場アクセスが悪かった。
- ・展覧会会場は休館日を設けるべきではない。

○入場料について

- ・無料会場が多いのは良い。
- ・有料会場は料金に対して作品数が少なく、割高感があった。

○その他

- ・各会場ともテーマに一貫性があり良かった。
- ・トークイベントを通じて、展覧会のテーマを理解できた。
- ・気軽に参加できるイベントや、子ども向けのイベントを増やしてほしい。
- ・休憩場所が欲しい。
- ・公式ポスターを販売してほしい。

アート関係者の評

SIAF2014の作品や展覧会の企画について、外部の有識者から寄せていただいたコメントのほか、新聞や雑誌、ウェブサイトに掲載されたアート関係者などの評を掲載する。

■アート関係者寄稿

くまくら すみこ
○熊倉 純子 東京藝術大学 音楽環境創造科 教授

「ビギナーズ・ラックに終わらせないために」

大型芸術祭は行政主導にならざるを得ない、しかも初開催——華やかな舞台の裏側はさぞかしギクシャクしたのではと思いきや、現地を訪ねてみると、チームワークの良さに驚いた。芸術と行政は水と油。しかし札幌では、行政チームと芸術の若手専門家たち、そして多くのボランティア市民の皆さんが、初顔合わせとは思えぬ緊密な連携プレーで、この大きな舞台を支えていた。

チームワークの要になったのは、坂本龍一ディレクターの熱心なコミットメントだったのだろうか。あちこちの現場で「坂本さんの企画は…」と若いスタッフが熱心に語ってくれて、現場にとって氏が雲の上の人ではなかったことがひしひしと感じられた。

しかし、火事場の馬鹿力とはいえ、これを単なるビギナーズ・ラックにしてはいけない。今回は道外から集まった専門スタッフも多く、札幌にいかにか人的資源とそのネットワークを築いていけるかが、次回に向けての課題と思われる。市には、人と活動を育む拠点形成をはじめ、地道な素地づくりを続けて欲しいと思っている。

やまもと かずひろ
○山本 和弘 栃木県立美術館 シニア・キュレーター／国際美術評論家連盟 aica 会員

「世界批評としてのSIAF2014」

現代美術は世界批評という有用性を発揮する。故に幾多の困難を乗り越えながらも、芸術は社会に提起され続けている。芸術が批評する世界とは、ある科学史家に倣えば月下世界と天上界を統合した宇宙であり、もはや環境という言葉では包摂しきれない。

この意味において、札幌国際芸術祭2014が提起した都市と自然という古典的対立項は、電磁化された情報と舞い降りる雪の結晶の対比に象徴される新たな世界像へと変換された。すなわちディレクターの坂本龍一が参照した、緑化アクションと凍てつく大地を人々の熱い対話によって接合したヨーゼフ・ボイスの水平視線と、私たち地球人を^{あまね}遍く一体化させる21世紀的な垂直視線が綾なす聴(超)視覚的造形という〈テキスト＝織物〉へと札幌は変換されたのである。さらに科学と技術と芸術の三つ巴の^{えいち}叡智を相互批評することによって、この造形テキストは人間と世界とが持続的に融和性を発揮しうる〈コンステレーション＝星座〉へと拡張された。

地球上で^{きら}煌めくあまたの先行国際芸術祭の中においてもSIAFはひとときわ輝き続けることだろう。あたかも〈天上のシュネー・クリスタル＝雪華〉のように。

かまた たかし
○鎌田 享 北海道立近代美術館 普及情報課長

札幌国際芸術祭2014の開催テーマ「都市と自然」。これは、札幌の立地環境を踏まえ、今日の社会状況にも通じる、ある種の説得力をまとっている。道立近代美術館と札幌芸術の森美術館では、このテーマのもと国内外の美術作品が紹介された。構成の緻密さや作品の多様さ、美術館という会場設定。こうした分かり易さゆえに、両館での展示が芸術祭の中核と捉えられることもあったが、それはやや異なろう。

企画展示と冠されたこれらは、開催テーマを多義的に^{ひもと}紐解くための水先案内人である。その先に広がる芸術祭の真の本体は、札幌駅前通地下歩行空間など札幌全域で展開された作品や活動、そしてそこに参加した人々の振る舞いにこそ求めるべきだと思う。

「都市」を「ヒトの営巣」、「自然」を「所与の状況」と読み替えるならば、このテーマは、人間の存在可能性を問うものに他ならない。芸術祭の視座は、札幌という都市、現代という時代に限定されるものではなかった。

そして今回の企画は、札幌国際美術展ではない。札幌国際芸術祭とは、「札幌」という地で、脱札幌＝「国際」的な広がりのもと、「芸術」(＝アート)と名付けるしかない取り組みを通じて、人々の営みを読み直す「祭典」(＝日常を超えた場)だったといえる。

アートで社会を読み解くという実験的な趣旨、それを具体化した複層的な事業構造こそが、札幌国際芸術祭の斬新さであった。しかしそれは、幅広い市民層への浸透不足、芸術祭の分かり難さと、表裏一体でもあった。その解消策は、単なる宣伝活動では済まない。美術作品という完結した物体からアートという未完の状況へ、展覧会の受動的鑑賞から祭典への能動的参加へ。価値の転換を、より強く訴えることが必要だったのだろう。

アートが社会の改善に直接的に寄与することは、難しいかもしれない。しかしアートからの視点が社会のあり方や人々の生き方を考え直す契機とは、なり得るかもしれない。芸術祭の意味を咀嚼し展開していくことが、祭典の終幕後も引き続き求められていく。

○^{かんた まさあき}神田 真秋 愛知芸術文化センター 総長(前愛知県知事)

「北の大地の芸術祭を訪ねて」

「札幌でどんなアートに出会えるか」そんな期待を抱きながら、この8月の終わりに札幌国際芸術祭を訪ねた。

札幌国際芸術祭は「都市と自然」をテーマに札幌・北海道の近代化の歴史を振り返りながら、未来を展望するという独自の取り組みである。伊福部昭や掛川源一郎、中谷宇吉郎ら北海道の先人たちの仕事を丹念に掘り起こし、また先住民や炭鉱、開拓の痕跡を蘇らすなど、北海道という大地が歩んできた明治維新以降の歴史そのものを真正面から取り上げている。これほど直截に地元のことを芸術祭のメインステージに登場させている芸術祭も珍しいのではないだろうか。

ここに札幌国際芸術祭の独自性があるに違いない。大いに意表を突かれるとともに、それはまた、これまで何回も経験してきた、新たなアートの可能性との心地よい出会いとなった。

もちろん未来に向けたメッセージをもつ現代アートの魅力的な作品にもたくさん出会った。岡部昌生、中谷芙二子、カールステン・ニコライ、平川祐樹、松江泰治、宮永愛子らの作品には大いに楽しませてもらった。また会場作りで特に興味を引いたのは、地下歩行空間を活用したアートシーンの展開だろう。そこを行きかう人々の様子を眺めながら、都市における芸術との接点の一面を垣間見ることができた。

愛知では、私が知事在任中の2010年に「都市の祝祭」をテーマにして「あいちトリエンナーレ」をスタートさせ、すでに2回を開催した。芸術祭を愛知芸術文化の100年の軸にしようとする取り組みである。

今や芸術祭は全国各地で繰り広げられているが、こうした各地の芸術祭が互いに切磋琢磨し、刺激を受けながら連携して発展させていくことが重要である。そしてそのことが、地域の魅力を再発見するとともに、とかく人、モノ、情報が東京へ一極集中することを打破する有力な手段になるのではないだろうか。愛知も、今回の札幌国際芸術祭から得たものを第3回の更なる展開につなげていきたいと考えている。

上田市長が種をまいたこの芸術祭を大きく育てていかれるよう、今後の発展を大いに期待したい。

■国際交流基金招待の視察ツアー参加者のコメント

●国際交流基金招待の記者コメント

- SIAF2014への参加は日本の別の一面を体感できた特別で素晴らしい機会だった。今回の訪問以前は札幌といわれて思い起こすことといえば冬季オリンピックだったが、札幌は文化面においても十分な舞台になり得る事を証明してくれた。坂本龍一氏が自然環境を通して受けたインスピレーションを作品として見事に表現していた事に非常に感銘を受けた。

(アレッサンドロ・カナボ、Corriere della Sera文化担当エディター／イタリア)

- SIAF2014では人類の自然との関係性の中から生まれた美を表現するという、非常に熟考されたビジョンが提示されていた。それは決して単純ではない方法で気持ちを高揚させてくれるものだった。個人的にはその考え抜かれたキュレーションと、テクノロジーの先進的な使い方、そして何より作品と自然風景が織りなす息を飲む瞬間の数々にとても感動を覚えた。

(ドーン・チャン、Artforumエディター／米国)

- SIAF2014への訪問をとっても楽しんだ。各会場での展示スケールやその多様性、また各展示会場の持つテーマがそれぞれ相互に関係し合っている点がとても印象的だった。個人的には島袋道浩のパブリックインスタレーションや毛利悠子の創り出した素晴らしい空間など、北海道独自の歴史や文化を示唆する作品がとても興味深かった。四方幸子による公共通路を使用したキュレーション「センシング・ストリームズ」展やテレビ塔でのプロジェクト(インターネットヤミ市)もとても革新的で惹き付けられるものだった。

(ガブリエル・モーザー、Canadian Artエディター／カナダ)

- SIAF2014へ参加できたことは日本訪問の中でもとても重要なことのひとつだった。坂本龍一氏の明白なテーマ性に基づき、SIAF2014では明らかに一貫性のある物語が展開されていた。特に選ばれた作品が特定の場所でその歴史と現代そして今ととても強く結びついており(北海道庁赤れんが庁舎やインターネットヤミ市など)、美術作品が通常の美術館といった空間だけでなく、地下通路などでも見られた事はとても興味深かった。また個人的には国際的な文脈の中で、海外作家と国内作家が同等にキュレーションされていたことも特筆すべきことだと思う(特に山川冬樹や宮永愛子など。宮永とは帰国後ロンドンで偶然再会し、その後一緒にパブリックトークを行う縁にも恵まれた)。

(マーク・ラポルト、Art Reviewエディター／英国)

翻訳：山越 紀子

●国際交流基金招待のキュレーターコメント（アンケートより抜粋）

- 美しいインスタレーションだった。中谷芙二子の霧の彫刻とスーザン・フィリップスの森の作品は、見事だった。トマス・サラセーノ、カールステン・ニコライ、中谷宇吉郎の作品、また島袋道浩、坂本龍一の作品も興味深かった。インドア/アウトドアのアプローチが良かったし、会場が素晴らしかった。
- SIAF2014をととても楽しんだ。素晴らしいキュレーションで、各キュレーターによる展覧会見学ツアーのような機会を得られ、大満足だ。キュレーションの力で、アートそのものだけでなく、場所そのものの特質、その社会、政治や歴史をつかめたと思う。
- SIAF2014は、今回のツアーの中で、ずば抜けて良かった訪問先だった。ゲストディレクター坂本龍一氏の作品は、パワフルで味があった。「自然」「都市」「経済、地域、ライフ」のそれぞれのテーマはタイムリーで、アーティストやキュレーターの豊かな主題を見せた。モエレ沼公園と札幌芸術の森美術館が良かった。特に感動したのが飯田志保子氏のキュレーション。札幌の歴史を強調したところや、先住民族アイヌの歴史やアートを芸術祭に取り入れたのは、賞賛に値する。
- SIAF2014の展覧会は、とても強力だった。そう思えたのも、キュレーターに直接案内してもらえたからかもしれないが、展覧会と作品との深いつながりを容易に見出せた。SIAF2014が描いたコンテクストや先住民族アイヌを含むダイナミクスを理解することにより、日本のアートという展望で札幌が自分の都市をどのように位置付けているかを知ることができ、それぞれの展示をどう見るかに役立った。SIAF2014で鑑賞した展示すべてを非常に楽しめた。
- SIAF2014は、あらゆる角度でとても印象に残った点は、①ゲストディレクター坂本龍一氏によるよく考えられたコンセプト、②展覧会それぞれのキュレーター、③展示会場の展開（美術館や地下通路から元裁判所やオフサイトの小さな会場まで）、④アーティスト、作品、時間の範囲、例えば、伊福部昭や掛川源一郎の作品を、現代ニューメディアや一般彫刻（アイヌ民族に関連する二風谷^{にふたに}の石）と共に見せていたこと、⑤個々の展示のコンセプト——である。
全体的には、都市、自然、都会のインフラに焦点を当てていたところが良かった。企画展示「都市と自然」の展示では、フォーカス、詩的なアプローチという意味で、個人的にすばらしいと感じたし、インスタレーションも思慮に富んでいて、美しかった。作品は、美術館のフロアや壁を越えて、互いに共鳴し合っていた。
「フォレスト・シンフォニー」やスーザン・フィリップスの公園の作品だけでなく、インスタレーションから浮かび上がった森のテーマが気に入った。
- SIAF2014は、現代アートを幅広く見せただけでなく、作品や展示会場を通じて、地域の歴史を紹介し、語り掛けていたように感じた。日本の歴史や文化を「ありのままに」感じた。さらに、都市や地域の問題点も参考になり、サテライトのインスタレーションの中には、現代ニューメディア・アートの非常に良いプレゼンテーションもあった。サテライトだが、規模の大きめのプロジェクトの有機的な拡張のように感じさせた。主催者は、サテライトのスペースや、作品の展示には想像もつかない場所を活用するという点において、大成功を収めたと思う。それによって、都市というものが現れ、特にわれわれのように馴染みのない者にとって明確となった。
- SIAF2014の企画展示「都市と自然」の展示がとても良かった。テーマに対するキュレーターのアプローチが明確で、アーティストの選定も良かった。北海道に関連した歴史的アーティストや科学者の展覧会が、芸術祭と地域をつなぐ上で重要な役割を果たした。

- SIAF2014は、札幌芸術の森美術館や北海道立近代美術館で実施された既存型の展覧会から札幌駅前通地下歩行空間のインスタレーションや北海道庁の庁舎を利用した参加型まで、エキサイティングで多層的だった。芸術祭のキュレーターに直接案内してもらう機会を得られ、とても有意義で楽しい経験となった。特に、毛利悠子の作品が良かった。現在、Northern Spark版の「45th Parallel」プロジェクトを企画中なので、本企画にて、札幌で出会ったキュレーターやアーティストに関わってもらえると良い。インターネットやミ市は、熱狂的な、それでいて制作プロセスにおいて多くの重要な課題に取り込んでいる参加者が共にキュレーションしてくれるライトな企画の一例として、今もよく思い出している。

〈参加キュレーター〉

キティ・スコット(アートギャラリー・オブ・オンタリオ／カナダ)、
スティーブ・ディッツ(ノーザン・ライツ・ミネソタ／米国)、
キャスリーン・フォード(ボルサン・コンテンポラリー／米国)、
アンドレア・グローバー(パリッシュ・アート・ミュージアム／米国)、
アドリエル・ルイス(スミソニアン・アジア・パシフィック・センター／米国)、
クリスチャン・ポール(ホイットニー美術館、ニュースクール大学／米国)、
ノラ・バーネット・エイブラムス(デンバー現代美術館／米国)、
ルイズ・カミーロ・オソーリオ(リオデジャネイロ近代美術館／ブラジル)

■新聞、雑誌、ウェブサイトなどの評価 (記事はいずれも抜粋)

○北海道新聞／2014年8月8日付「ステージ『CHROMA』」(元井 麻里子)

技術を駆使した映像と音響に生身の人間の演技が加わり、観客の想像力を心地よくかき立てた。
ユニークな手法は道内の舞台芸術関係者を大いに刺激したはず。

○北海道新聞／2014年8月30日付「ステージ『BABEL^{ワーズ}』」(元井 麻里子)

印象に残るのが、舞台装置として英国の彫刻家アントニー・ゴームリーが作った直方体の巨大な五つのフレーム。ダンサーたちによって自在に形を変え、個人や集団の「境界線」を表した。フレームの内外で、時に愛し合い、時に激しくぶつかり合うダンサーの姿を通して、人間という存在をあらためていとおしいと感じることができた。
それにしても、一般的にはまだ「難解でとっつきにくい」と思われがちなコンテンポラリーダンスの敷居をこれだけ下げてくれた芸術作品もそうないだろう。

○北海道新聞／2014年9月3日付

「札幌国際芸術祭 作家と作品／中谷 宇吉郎、カールステン・ニコライ、高谷 史郎(道立近代美術館)」
札幌国際芸術祭のメイン会場の一つ、道立近代美術館の2階展示室では「本来アートではないもの」に光があたっている。展示は科学とアートを隔てる固定概念を取り払って見せた。

○毎日新聞／2014年8月14日付「Topics 各地で現代美術国際展」(永田 晶子)

明治以降、近代化の一端を担った北海道の歴史と地理的特性がテーマに合致。新作は決して多くないが、当地で開催する意義をうまく打ち出した。

○北海道新聞／2014年10月6日付「札幌国際芸術祭72日間を振り返る」(岩本 茂之)

どんなテーマになっても今回の「21世紀以降の新しい文明の形を考える」という視点を使い捨てにせず根幹に据えたい。1回やそこらで見つかる答えではなく、私たちが未来から問われている課題なのだから。幅広い層を巻き込んで足腰を強くし、近代と共に生まれた都市・札幌で新しい文明の形を考える。そして早急に準備を始めたい。

○北海道新聞／2014年9月17日付

「札幌国際芸術祭を見て キマジメすぎ物足りず」(村田 真・美術ジャーナリスト)

今回の芸術祭は、札幌の地で「都市と自然」について、あるいは近代史や環境問題についてマジメに考えるにはまたとない機会といえるだろう。だが、国際展に予想を超えたアートや作品同士の火花散るバトルを期待した者にとっては、いささかもたりなかったかもしれない。いや、これは「国際展」ではなく「芸術祭」だというなら、なおのこと、もっと祝祭的に楽しめるものであってほしかったと思う。

○読売新聞／2014年8月21日付 「横浜と札幌 現代美術の国際展 都市と自然を循環」

主会場の市街地にある北海道立近代美術館に「都市」、郊外に立つ札幌芸術の森美術館に「自然」の主題を割り振り、双方が循環するように工夫している。

地下街や郊外のモエレ沼公園など会場は16カ所。ただ、広い地下街の中で、作品展示は一部に限られている。初開催とあってコンパクトにまとめた印象の反面、街ぐるみの一体感はまだ乏しい。次回開催に向けての課題と言えそうだ。

○朝日新聞／2014年10月4日付 「Opinion北海道 芸術祭が残したもの」

・暮沢 剛巳(東京工科大 准教授)

全体にコンセプトual(概念的、禁欲的)で派手でない作品が多く、芸術監督の坂本龍一さんの指向や好みが出ていた。その点では統一感もあった。

弱いと感じたのは、地域やコミュニティなどの問題があまり反映されていなかった点だ。越後妻有アートトリエンナーレなど近年成功している芸術祭では、作家が地域に入り過疎などの問題と向き合い制作するのがひとつのスタイルになっている。札幌ではそうした部分が少なく、地元の人の連帯感^{つまり}が薄くやや盛り上がり^{つまり}に欠けたようにも感じた。

芸術祭は、どうしてもそれがもたらす効果の方に目が行きがちで動員数などが分かりやすい指標になるが、もっと展示の質に注目するべきだ。今回は、テーマに合った作品の水準を保ち、それなりに評価できる内容だと思う。

・吉澤 弥生(共立女子大 専任講師)

気になったのは評価の仕組みと芸術祭後だ。日本では、開催後に様々な指標で芸術祭の効果や成否を検証する事業評価の仕組みが整っていない。例えば「アートでまちづくり」を掲げても、集客や収入だけで成果が測られるのが現状だ。アートは街を変えない。観覧者やボランティアなど様々な立場の人に何らかの作用を及ぼし、その人が以前とは少し違う意識で日々を過ごしたり、街に働きかけたりすることで初めて街は変わる。そこを測るためにも細かな記録や調査が必要になる。今回はスタッフが自己検証的な話し合いをしている場面にも出会い、次へつなげようとする可能性も感じた。行政も、指標を定めてきっちりと事後評価を行うべきだ。

・吉岡 宏高(炭^ヤ鉱^マの記憶推進事業団 理事長)

今回の芸術祭は、札幌で完結してしまったのが残念だ。北海道の近代化を考えるなら炭鉱やアイヌ民族など多くの大切なテーマがあり、圧倒的な「場の力」を持つ地域がいくつもある。せめて道央圏ぐらいで展開してほしかった。

美術作品の質も大事だが、観光や地域活性化などの手段としてのアートの側面もきちんと議論すべきだ。芸術祭は3回くらいやってみないと効果は分からないと思う。次回は、より広い地域を巻き込んで開催してほしい。

○北海道新聞／2014年10月3日付 「現代アート若者魅了 48万人来場 札幌国際芸術祭」(山田 宏茂)
東京工科大の暮沢剛己准教授(芸術学)は、「個人がアートを体験することが最も貴重だが、国際展は規模も予算も大きいので、動員や話題性を暗黙のうちに求められる。初回はその点で成功といえる」と評価する一方、「地域の特色が薄かった。にぎわいか、芸術性か、なぜ札幌か。目的を明確に定めた上で、次回にふさわしい芸術監督の人選を今から進めるべきだ」と提言している。

○北海道新聞／2014年10月13日付 「月曜討論 ボランティア結集が成果」(中島 洋・シアターキノ 代表)
芸術祭は今回、突然始まったわけではありません。地元の芸術家が1970年代から、海外の作家を招いて展覧会を開くなど実績を重ねてきた。私も数年前から仲間とともに芸術祭開催を目標に、プレイベントを開くなどしてようやく実った。そういう土壌、地元の作家の思いがあったことを忘れないで、継続して開催してほしいですね。

○月刊ゲーテ／2014年10月号

「都市と自然の新しい関係を探る旅 アートシティ札幌へ」(舘野編集長)

もともと坂本さんの活動全体に、都市と自然の調和を考えるという姿勢は、一貫して含まれています。そしてここ2年ほど、坂本さんがこの芸術祭に心血を注いでいたのを、実際に聞いたり見たりしていました。コンセプトの醸成から出展アーティストの選択にまで携わり、さらには自身の作品の出品もしている。まさにスーパーな活動ぶりです。そんな坂本さんの情熱に導かれ、ルイ・ヴィトンも芸術祭をサポートしています。この芸術祭全体が「都市と自然」というテーマで見事に統一されているとしたら、それはあらゆる細部が、坂本龍一というフィルターを通してできあがっているからでしょう。

気分を高めて美術館へ出向くのもいいけれど、アートってそれだけじゃない。子供からお年寄りまでが、日常の延長として美に触れられるこんな場も、ぜひあってほしい。日本の都市に不足する“ゆとり”や“遊び心”がここにはありますね。

○DEPARTURE(ウェブサイト)／2014年7月22日付

「札幌国際芸術祭2014-vol.2 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)」

チ・カ・ホでは、エキシビションやプロジェクト、トークイベント、作品上映など様々なプログラムが楽しめる。公共空間での作品展示には、目に見えない様々な制約を乗り越えるための煩雑な調整が不可欠だが、そのような苦勞を全く感じさせない統一感のある展示に仕上がっている。通りすぎる多くの歩行者が足を止めて作品に興味深く鑑賞している姿が印象的だ。

○週アスPLUS(ウェブサイト)／2014年8月26日付

「札幌国際芸術祭2014開催中!『都市がメディアとなって表現する』芸術の祭典」

札幌国際芸術祭では、都市をかたちづくっている自然をメディアアートによって浮き上がらせる数々の作品が展開されている。都市を成立させている、その地が持つ力。このアートフェスは、テクノロジーを用いてそれを前景化し、五感で確認させてくれる場であり、プロジェクトなのだ。

○SankeiBiz x SANKEI EXPRESS(ウェブサイト)／2014年9月8日付

「『札幌国際芸術祭2014』大都市に潜む自然があふれる」(岡田 智博・クリエイティブクラスター 理事長)
都心に投げられた一石を起点に、流れるかのように配された作品に誘われ森に到るまで回遊した後、悠久なる都市の深層を巡るパズルをおのおのが解いたかのような気持ちを催す余韻を、この札幌最初の試みは与えてくれたのであった。

○artscape (ウェブサイト)／2014年11月15日付

「学芸員レポート 『札幌国際芸術祭』」(山口 洋三・福岡市美術館)

雄大な北海道の自然と札幌という大都市の対比かな、くらいの気持ちで会場を巡った。「都市」と「自然」じゃなくて、「自然→都市」。つまり江戸末期以降、日本が近代国家としての出発を始めたころ、蝦夷地と呼ばれていた北海道にはいわば「自然」しかなく、そこに近代化が押し寄せてきた。「都市と自然」とはつまり、この歴史を指している。これに気がついたときに、急にこの展覧会が立体的に見えてきた。札幌にはテーマの必然性が感じられました。

——でも「都市と自然」というテーマをはっきりと意識させたのは、じつは山川冬樹の作品だったんでしょう？

チ・カ・ホでの展示だったね。札幌の地には豊かな地下水脈がかつて存在し、「メム」と呼ばれる湧き水もあったとか。まさに自然の上に都市がある。山川は、かつての水路をカヤックで自らたどった行為を映像記録と実際に使ったカヤックとで示していた。たんに時間の水平な流れだけでなく、垂直な堆積を意識させるものだったと思う。しかしチ・カ・ホを通る人たち、歩くの速すぎじゃないか？ 高速で直進する人が多いから何度もぶつかりそうになった。地下水脈ならぬ地下人脈(笑)。

——つまり、「都市と自然」というテーマと作品は北海道の歴史、つまり土地の記憶に直結する内容だったというわけですね。この芸術祭、継続されると聞きましたけど、このテーマは変えないで掘り下げていくと、北海道ならではの展覧会に成長するかもしれませんね。

○サウンド&レコーディング・マガジン(ウェブサイト)／2014年9月2日付

「会期はあと1カ月足らず！ 札幌国際芸術祭で見逃せないサウンド・インスタレーション」

坂本龍一が大貫妙子と「UTAU」を作り上げた芸森スタジオのあるエリアだが、その中心的な施設である札幌芸術の森美術館の中庭および手前の池を使い、霧の彫刻家＝中谷芙二子の人工霧による作品が30分に一度、8分という長さで立ち現れる。音の作品というわけではないが、時間という枠があり、その中で常に形を変えするという意味では、とても音楽的に感じるができるものだ。移ろいゆく霧に見とれている内に8分という時間があっという間に過ぎてしまうことから、音楽を作っている人間なら時間というものについてさまざまな思いを巡らせてしまうことだろう。

○日本経済新聞(ウェブサイト)／2014年9月9日付 「アートレビュー 札幌国際芸術祭2014 霧の彫刻に目を遊ばせ、火花放電の美しさにため息」(小川 敦生・多摩美術大学 教授)

(山川冬樹「リバー・ラン・プラクティス」について)今の時代ならではの動きが表れたのは、ネットを通じたリアルタイムの反響だろう。短文投稿サイト「ツイッター」を通じて情報が広がり、川から上陸するときには、50人ほどの人々が実際に集まって出迎えたという。パフォーマンスはヒストリウムやツイッターを通じて広まり、人々が実際に応援に駆けつける。ネットを通じた情報がここではバーチャルの世界で閉じずにリアルと自然につながっている。

■SIAF2014終了後の動き

●受賞・評価

- 坂本龍一+真鍋大度《センシング・ストリームズー不可視、不可聴》は、第18回文化庁メディア芸術祭 アート部門優秀賞を受賞。国立新美術館[東京]で2015年2月に開催されたメディア芸術祭受賞作品展で再展示された。
- SIAF2014 ツール・グッズのグラフィックデザイン(公式デザイナー長嶋りかこ監修)が、優れたグラフィックデザインを表彰する「JAGDA 賞 2015」(主催：(公財)日本グラフィックデザイナー協会)のジェネラルグラフィック部門を受賞した。
- 《ブラインド・ブック・マーケット》《サッポロ・エホン・カイギ》は、第100回全国図書館大会の記念フォーラムで読書普及活動の先進的取り組みとして活動内容が紹介された。

●他都市への波及

- 《とくいの銀行 札幌》が契機となり、SIAF2014閉幕後に京極町(北海道虻田郡)の地域福祉実践計画に計上され、「とくいの銀行 京極支店」が町の取り組みとして開設された。
- 北海道立近代美術館に展示されていた中谷宇吉郎の「天然雪・人工雪の写真」と「火花放電の写真」は、中谷の故郷である加賀市の中谷宇吉郎雪の科学館へ寄託された。その後、SIAF2014で展示された中谷作品の展覧会が2014年10月～2015年3月に中谷宇吉郎雪の科学館で開催された。
- SIAF2014で実施した先住民族アイヌの神事カムイノミの写真が、2015年4月に開館する北海道博物館に展示される予定である。

●市民活動への波及

- 札幌市北3条広場で行われた《フェスティバルFUKUSHIMA! 北3条広場で盆踊り》が、札幌駅前通地区活性化委員会により2015年8月に再び開催されることが決定した。
- 札幌市民が中心となり、「アートカフェ」「フライングフォーラム」など、SIAFについての自主的なイベントが閉幕後も継続して開催されている。
- SIAF2014のワークショップが契機となり、札幌市民ホール前にある樹齢約300年のハルニレを後世に残そうという、市民有志による「札幌ハルニレプロジェクト」が発足。市民の自主的な活動として継続して実施されている。

●その他

- 自然石を使った島袋道浩《一石を投じる》は、SIAF2014閉幕後、札幌市資料館前庭に次回のSIAF開催まで展示されることとなった。
- 《コロガル公園 in ネイチャー》で使用された木材(道産材)は、作品を解体後、再利用を目的に市民に配布された。
- オープニングプログラム「旋回するノイズ」で「社会福祉法人札幌三和福祉会」が制作した鳩に取り付けた笛は、その後、同団体によって商品化され、会期中にグッズとして販売されたほか、会期後も地下鉄大通駅コンコースにある「元気ショップ」で販売されている。
- 参加アーティストの暮らしかた冒険家は、SIAF2014閉幕後、札幌に移住することを決め、活動を続けている。

実行委員会

■創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

○会長

上田 文雄〈札幌市長〉

○副会長

高向 巖〈札幌商工会議所 会頭〉

武邑 光裕〈札幌市立大学 デザイン学部 教授／札幌メディア・アーツ・ラボ(SMAL) 所長／
NPO 法人 都市文化創造機構〉

奥岡 茂雄〈美術評論家〉

○委員

横内 龍三〈(株)北洋銀行 取締役会長〉／堰八 義博〈(株)北海道銀行 代表取締役頭取〉

村田 正敏〈(株)北海道新聞社 代表取締役社長〉／星野 尚夫〈(一社)札幌観光協会 会長〉

福井 知克〈(監事) (一財)さっぽろ産業振興財団 専務理事〉

橋本 道政〈(公財)札幌市芸術文化財団 副理事長〉／森山 二郎〈(株)朝日新聞社北海道支社 支社長〉

川口 裕之〈(株)毎日新聞社北海道支社 支社長〉

水谷 宏〈(株)読売新聞東京本社執行役員／北海道支社長〉

和智 徳男〈(株)日本経済新聞社札幌支社 支社長〉／中田 裕之〈日本放送協会札幌放送局 局長〉

渡辺 卓〈北海道放送(株) 代表取締役社長〉／小林 裕孝〈札幌テレビ放送(株) 代表取締役社長〉

樋泉 実〈北海道テレビ放送(株) 代表取締役社長〉／須賀 信昭〈北海道文化放送(株) 代表取締役社長〉

関口 尚之〈(株)テレビ北海道 代表取締役社長〉／松崎 良佐〈(株)STVラジオ 代表取締役社長〉

宇佐美 暢子〈(株)エフエム北海道 代表取締役社長〉

柴野 伸幸〈(株)エフエム・ノースウェーブ 代表取締役社長〉

渡邊 光春〈札幌市 市長政策室長〉／可児 敏章〈札幌市 観光文化局長〉

○アドバイザー

阿部 典英〈北海道文化団体協議会 会長〉／水田 順子〈北海道立近代美術館 学芸副館長〉

天野 太郎〈横浜美術館 主席学芸員〉／北村 清彦〈北海道大学文学研究科 博士／教授〉

佐藤 友哉〈札幌芸術の森美術館 館長〉

※ 11月17日(月)現在

●創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会 国際芸術祭事務局

○事務局長

小田垣 克彦〈札幌市 観光文化局国際芸術祭担当部長〉

○事務局

松浦 剛／池田 重幸／石井 正治／山田 一雄／佐藤 剛／納 真悟／宮岡 完／遠藤 広士／小倉 径一郎／

阿部 啓太郎／佐々木 麻衣／吉村 有未／佐々木 丈英／田中 聡美／戸田 啓介／杉本 雅善／

岡本 和沙／丸田 鞠衣絵〈以上、札幌市 観光文化局国際芸術祭担当部〉／

加藤 義典〈(株)北海道新聞社〉／酒井 勉〈(株)北海道銀行〉

■企画体制

○ゲストディレクター

坂本 龍一

●アソシエイトチーム

○企画アドバイザー

浅田 彰

○アソシエイト・キュレーター

飯田 志保子／四方 幸子

○地域ディレクター

端 聡

○チーフ・プロジェクト・マネージャー

小田井 真美

○プロジェクト・マネージャー

漆 崇博／小川 智彦／カジタ シノブ／須之内 元洋／難波 祐子／細川 麻沙美

○プロジェクト・アシスタント

猪熊 梨恵／大下 裕司／大友 恵理／清澤 暁子／斎藤 ふみ／佐藤 正範／白井 宏昭／真砂 雅喜

○テクニカル・スタッフ

安東 星郎／石川 大峰／石田 勝也／金築 浩史／小町谷 圭／杉本 達應／船戸 大輔／船戸 望／宮路 雅行
／棟方 渚

○公式デザイナー

長嶋 りかこ

○空間構成アドバイザー

青木 淳／丸田 絢子

○会場デザイン(北海道庁赤れんが庁舎会場)

オリバー・フランツ

○ゼネラルプロデューサー

武邑 光裕

■実行委員会開催日

●2012年度

	開催日	会場
第1回	2012年7月12日(木)	ニューオータニイン札幌 北斗の間
第2回	2013年3月22日(金)	全日空ホテル 白樺の間

●2013年度

	開催日	会場
第1回	2013年5月16日(木)	札幌パークホテル パークホールA
第2回	2013年10月30日(水)	ニューオータニイン札幌 北斗の間
第3回	2013年12月2日(月)	札幌パークホテル テラスルーム
第4回	2014年3月27日(木)	ニューオータニイン札幌 北斗の間

●2014年度

	開催日	会場
第1回	2014年7月10日(木)	札幌パークホテル パールルーム
第2回	2014年11月17日(月)	札幌パークホテル パークホールC

後援・助成・協賛・協力 一覧

○後援

環境省、国際交流基金、オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム、カナダ大使館、ケベック州政府在日事務所、Goethe-Institut Tokyo 東京ドイツ文化センター、在日アルゼンチン共和国大使館、スロヴェニア共和国大使館、駐日韓国大使館 韓国文化院、ブリティッシュ・カウンシル、Frame Visual Art Finland、ベルギー大使館、北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道文化財団、北海道文化団体協議会・札幌文化団体協議会、北海道芸術学会、札幌芸術・文化フォーラム

○助成

平成 26 年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ、一般財団法人地域創造、公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人朝日新聞文化財団、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、公益財団法人フランダースセンター、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

○オフィシャルブランドパートナー

LVJグループ株式会社 ルイ・ヴィトン ジャパン カンパニー、株式会社 札幌丸井三越

○オフィシャルパートナー

株式会社エクソル、サントリー酒類株式会社・サントリービア&スピリッツ株式会社、株式会社グランビスタ ホテル&リゾート、株式会社資生堂、日本通運株式会社、株式会社ほくせん、札幌トヨタ自動車株式会社、イエステーション 副都心住宅販売株式会社、株式会社オーディオテクニカ、株式会社ベネッセホールディングス、ソニー PCL 株式会社、鶴雅グループ、サッポロビール株式会社

○オフィシャルサプライヤー

北海道旅客鉄道株式会社、北海道空港株式会社、日本板硝子北海道株式会社、株式会社北海道シミズ、北海道中央バス株式会社、三井物産フォレスト株式会社、北海道木材産業協同組合連合会、株式会社木の城たいせつ、株式会社ブルーノート・ジャパン、日本航空株式会社、株式会社 J. フロント建装、キャリアバンク株式会社、株式会社インテリジェンス、株式会社ニトリ、山内ビニール加工株式会社、札幌駅前通まちづくり株式会社

○特別協力

山口情報芸術センター [YCAM]

○運営協力

一般社団法人モア・トゥリーズ、株式会社宮田屋珈琲、TSUTAYA

○告知協力

株式会社メガ・コーポレーション、さっぽろ地下街、株式会社じょうてつ、北都交通株式会社、札幌広域圏組合

○作品協力

あいもり株式会社、アルス・エレクトロニカ、株式会社イースタンサウンドファクトリー、伊福部 玲、有限会社イリス、エゾシカレザー協会、HJ アンドリュース研究林、エディア株式会社、エルム楽器、長万部観光協会、音更町図書館伊福部昭音楽資料室、オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社、加賀市中谷宇吉郎雪の科学館、京都国際写真祭 KYOTOGRAPHIE、京都造形芸術大学、株式会社グラフィック、光画文化研究所、コンテンツ株式会社、合同容器株式会社、社会福祉法人札幌協働福祉会、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会、株式会社さっぽろテレビ塔、CG-ARTS 協会、写真文化首都「写真の町」東川町、新おたる農協、SymbioticA ウェスタン・オーストラリア大学、株式会社匠工芸、株式会社タグチクラフテック、東京藝術大学社会連携センター、幡本印刷株式会社、株式会社フカミヤ、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社、公益財団法人びわ湖ホール、株式会社プリズム、株式会社プリプレス・センター、細江 英公、北海道下川町、北海道大学総合博物館、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション札幌研究林・雨龍研究林、北海道立北方民族博物館、WHITELIGHT、株式会社 mangekyo、明治学院大学図書館付属日本近代音楽館、モリタ株式会社、U.N.Limited、ラノベプロジェクト、株式会社 LIXIL・LIXIL ギャラリー、株式会社リクルートホールディングス、リッチモンド公園

札幌国際芸術祭 2014 開催報告書

平成 27 年（2015 年）3 月発行

編集 創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会
(札幌市 観光文化局 国際芸術祭担当部内)

札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 〒060-8611

TEL 011-211-2314

www.sapporo-internationalartfestival.jp

